

## 4 農業生産と流通



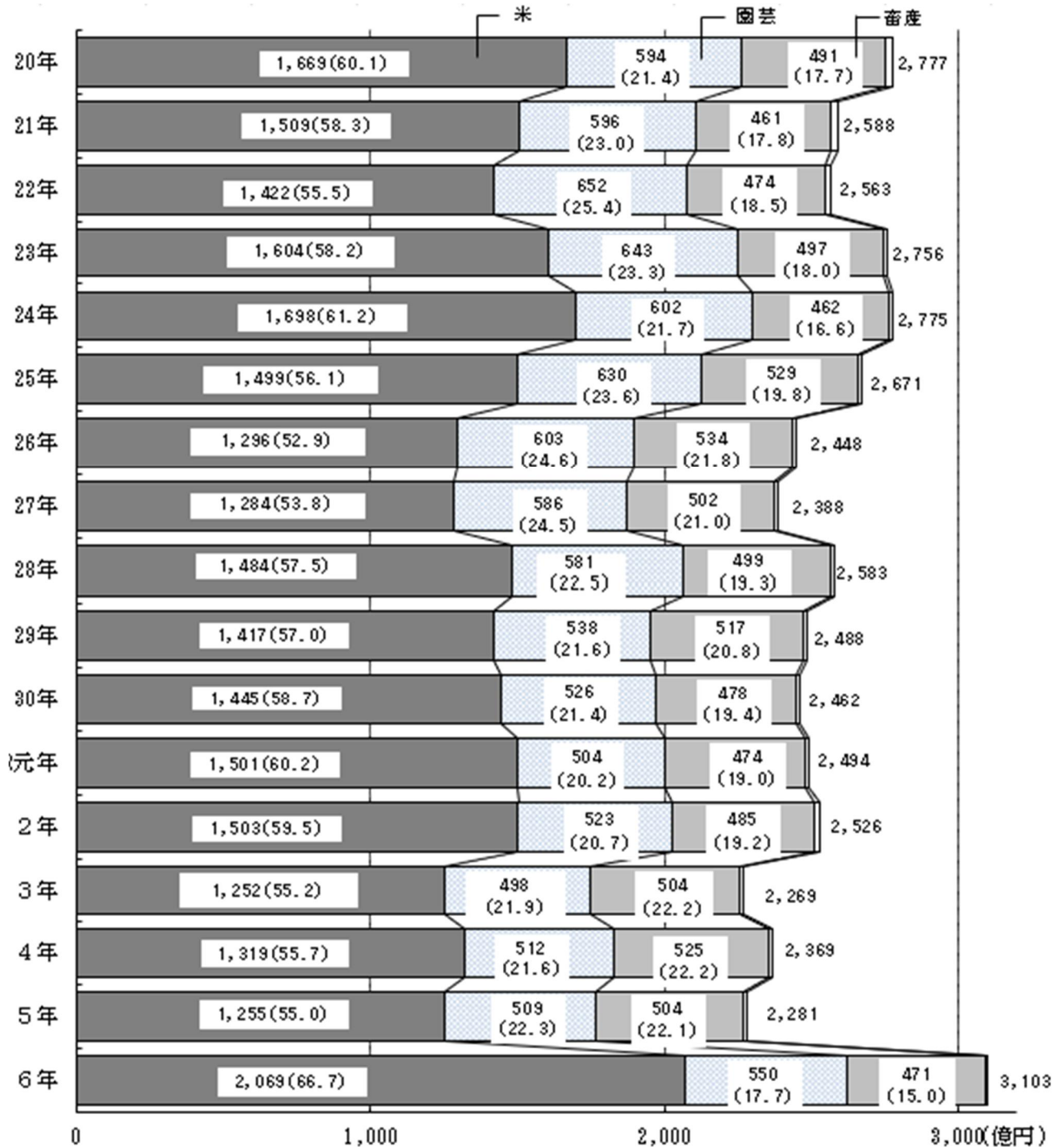
## 第4 農業生産と流通

### 1 農業生産の概況

#### (1) 農業産出額及び生産農業所得

～農業産出額は前年から822億円増加し、3,103億円～

図4-1-(1) 農業産出額の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計」及び「農林水産統計」

注1：( )は構成比。

注2：園芸には、「いも類」「工芸農作物」「その他作物(苗木等)」を含む。

表 4 - 1 - ( 1 ) 農業産出額・生産農業所得の推移

単位：億円

年	平成 2 年	7 年	12 年	17 年	22 年	27 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	
米	2,631	2,410	2,019	1,903	1,422	1,284	1,503	1,252	1,319	1,255	2,069	
構 成 比	66.9%	67.3%	64.3%	62.5%	55.5%	53.8%	48.4%	40.3%	55.7%	40.4%	66.7%	
園 芸	野 菜	425	380	329	317	410	370	321	309	323	338	364
	果 実	102	109	96	88	99	82	92	90	99	87	97
	花 き	75	114	125	100	94	92	67	69	69	62	64
	い も 類	24	21	20	19	23	27	33	20	14	16	20
	工 芸 農 作 物	76	61	47	35	24	13	10	9	5	4	5
	そ の 他	15	10	10	7	2	2	X	1	2	2	X
	小 計	717	695	627	566	652	586	523	498	512	509	550
構 成 比	18.2%	19.4%	20.0%	18.6%	25.4%	24.5%	16.9%	16.0%	21.6%	16.4%	17.7%	
畜 産	肉 用 牛	61	46	51	36	27	35	35	37	42	41	45
	乳 用 牛	134	112	97	88	73	67	57	55	52	50	51
	(うち生乳)	99	94	87	76	68	60	51	50	49	48	49
	豚	175	137	109	149	120	128	139	134	131	131	115
	鶏	177	166	205	270	254	271	253	278	300	281	259
	(うち鶏卵)	119	113	117	151	189	210	179	197	218	195	170
	養 蚕	4	0	0	...	...	...	...	...	...	...	...
	そ の 他 畜 産 物	1	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1
小 計	548	461	462	544	474	502	485	504	525	504	471	
構 成 比	13.9%	12.9%	14.7%	17.9%	18.5%	21.0%	15.6%	16.2%	22.2%	16.2%	15.2%	
そ の 他	麦 類	9	1	2	2	0	0	X	0	0	0	X
	雑 穀	...	...	...	1	2	2	1	1	1	1	1
	豆 類	22	11	29	24	12	14	12	12	10	10	8
	加 工 農 産 物	2	2	2	4	1	1	1	2	2	2	2
	小 計	33	14	33	31	15	17	14	15	13	13	11
構 成 比	0.8%	0.4%	1.1%	1.0%	0.6%	0.7%	0.5%	0.5%	0.5%	0.4%	0.4%	
農業産出額合計	3,933	3,580	3,141	3,044	2,563	2,388	2,526	2,269	2,369	2,281	3,103	
生産農業所得	1,731	1,430	1,176	1,277	1,097	966	945	848	771	805	1,116	
生産農業所得率	44.0%	39.9%	37.4%	42.0%	42.8%	40.5%	37.4%	37.4%	32.5%	35.3%	36.0%	

資料：農林水産省「生産農業所得統計」

注：平成 19 年から、統計調査の方法が変わったため、平成 18 年以前のデータとの比較には注意が必要（19 年からは中間生産物の県内他市町村販売分及び水田経営所得安定対策の交付金の一部が計上されていない）。

## (2) 農業産出額の部門別の特徴

### ア 米

本県の令和6年産の米収穫量は前年より約3万トン多い62.3万トンとなり、全国的な米の品薄感により高値で取引をされたことから、産出額は2,069億円と前年に比べ814億円増加した。(前年比164.9%)

表4-1-(2) 米産出額の増減要因

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
水稲作付面積	119,200 (+1,000ha)	119,500 (+300ha)	117,200 (△2,300ha)	116,000 (△1,200ha)	115,800 (△200ha)	116,200 (△400ha)
水稲10a当たり収量	542 (+11kg)	558 (+16kg)	529 (△29kg)	544 (+15kg)	511 (△33kg)	536 (+25kg)
水稲収穫量	646,100t (+18,500t)	666,800t (+20,700t)	620,000t (△46,800t)	631,000t (+11,000t)	591,700 (△39,300t)	622,800 (+31,100t)
農家庭先価格 (推定：円/60kg)	13,939円 (+124円)	13,520円 (△419円)	12,116円 (△1,404円)	12,542円 (+426円)	12,720円 (+178円)	19,926円 (+7,206円)

資料：農林水産省「作物統計」、「米の相対取引価格」、農家庭先価格は農産園芸課推計

注：( )内は前年との差

表4-1-(3) 米主産県の産出額及び作付面積等の推移

#### 米産出額

(単位：億円)

都道府県	R2	R3	R4	R5	R6	増減率 (R2 R6)
新潟県	1,503	1,252	1,319	1,255	2,069	37.7%
北海道	1,198	1,041	1,067	1,149	1,841	53.7%
秋田県	1,078	876	852	938	1,652	53.2%
山形県	837	701	689	739	1,311	56.6%
宮城県	795	634	630	731	1,309	64.7%

#### 水稲作付面積(子実用)

(単位：ha)

都道府県	R2	R3	R4	R5	R6	増減率 (R2 R6)
新潟県	119,500	117,200	116,000	115,800	116,200	2.8%
北海道	102,300	96,100	93,600	93,300	95,000	7.1%
秋田県	87,600	84,800	82,400	83,000	84,200	3.9%
山形県	64,700	62,900	61,500	61,000	60,800	6.0%
宮城県	68,300	64,600	60,800	60,900	62,800	8.1%

#### 水稲収穫量(子実用)

(単位：t)

都道府県	R2	R3	R4	R5	R6	増減率 (R2 R6)
新潟県	666,800	620,000	631,000	591,700	622,800	6.6%
北海道	594,400	573,700	553,200	540,200	562,400	5.4%
秋田県	527,400	501,200	456,500	458,200	490,000	7.1%
山形県	402,400	393,800	365,300	359,300	354,500	11.9%
宮城県	377,000	353,400	326,500	344,700	366,100	2.9%

#### 水稲10a当たり収量

(単位：t)

都道府県	R2	R3	R4	R5	R6	増減率 (R2 R6)
新潟県	558	529	544	511	536	3.9%
北海道	581	597	591	579	592	1.9%
秋田県	602	591	554	552	582	3.3%
山形県	622	626	594	589	583	6.3%
宮城県	552	547	537	566	583	5.6%

資料：農林水産省「生産農業所得統計」「作物統計」

### イ 園芸

高温の影響により出荷量は減少したものの、野菜・花きは価格が上昇したこと、果樹では日本なしやももの収穫量が回復したことで、出荷額は前年に比べ41億円増加した。(前年比108.1%)。

### ウ 畜産

本県畜産産出額の過半を占める養豚と養鶏において、豚肉の生産量が減少したことと鶏卵の価格が低下したことから、出荷額は前年に比べ33億円減少した(前年比93.5%)。

## 第4 農業生産と流通

### 2 米の生産と流通

#### (1) 生産概要

##### ア 水稲作付面積・品種別作付面積

～令和7年産の本県の水稲作付面積（子実用）は前年から1,500ha増の117,700ha。  
コシヒカリの作付け比率は低下し、その他のうるち品種の作付けが徐々に拡大～

表4-2-(1) 水稲作付面積（子実用）

（単位：ha）

年産 区分		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年		令和7年	
作付 面積	新潟	117,200	8.4	116,000	8.6	115,800	8.6	116,200	8.6	117,700	8.3
	全国	1,403,000	%	1,355,000	%	1,344,000	%	1,359,000	%	1,425,000	%

資料：農林水産省「農林水産統計」

注：％は全国に対する本県のシェア

表4-2-(2) 水稲うるち・もちの作付比率

（単位：ha）

年産	うるち米		うちコシヒカリ		もち米		計	
	R3	111,400	95.0 %	74,100	63.2 %	5,800	5.0 %	117,200
R4	110,000	94.8 %	73,100	63.0 %	6,000	5.2 %	116,000	100 %
R5	109,700	94.7 %	73,000	63.0 %	6,100	5.3 %	115,800	100 %
R6	110,200	94.8 %	71,900	61.9 %	6,000	5.2 %	116,200	100 %
R7	112,200	95.3 %	72,300	61.4 %	5,500	4.7 %	117,700	100 %

資料：作付面積の計は、農林水産省「農林水産統計」

注：農産園芸課推計の作付比率（表4-2-(3)）に作付面積の計を乗じて算出

表4-2-(3) 水稲品種別作付比率

（単位：％）

種類	品種	区分	R3年産	R4年産	R5年産	R6年産	R7年産	対前年差
			うるち米	コシヒカリ		63.2	63.0	63.0
こしいぶき		16.9		16.2	15.3	15.4	15.9	0.5
新之助		2.9		3.5	3.8	4.4	5.2	0.8
ゆきん子舞		4.5		4.3	4.3	4.3	4.4	0.1
五百万石	酒米	1.4		1.5	1.6	1.7	1.6	△ 0.1
その他	酒米含む	6.2		6.3	6.0	7.4	6.9	△ 0.5
計		95.0		94.8	94.7	94.8	95.3	0.5
もち米	全品種		4.9	5.2	5.3	5.2	4.7	△ 0.5
合計			100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-

資料：農産園芸課推計値

注：ラウンドの関係で、必ずしも合計が一致しない

イ 作柄と品質

(ア) 作柄

～ 令和 7 年産新潟米の作況単収指数は 102 ～

表 4 - 2 - ( 4 ) 水稻収穫量

年産	区分		10a当たり収量 (kg)			収穫量 (t)			作況指数又は作況単収指数	
	新潟	全国	新潟 (A)	全国 (B)	A / B × 100	新潟	全国			
令和 3 年	529	539	620,000	7,563,000	8.2	96	101			
令和 4 年	544	537	631,000	7,269,000	8.7	99	100			
令和 5 年	511	533	591,700	7,165,000	8.3	95	101			
令和 6 年	536	540	622,800	7,345,000	8.5	98	101			
令和 7 年	542	547	637,900	7,790,000	8.2	102	102			

資料：農林水産省「農林水産統計」

注：令和 3 年から令和 6 年は作況指数、令和 7 年は作況単収指数を示す

表 4 - 2 - ( 5 ) 農業地域別水稻収穫量 (令和 7 年産)

区分	作付面積 (ha)	前年差	10a当たり収量 (kg)	収穫量 (t)	作況単収指数	10a当たり 平年収量 (kg)
			(1.70mm篩目)			
県計	117,700	1,500	542	637,900	102	524
下越	58,000	800	552	320,200	101	539
中越	39,500	300	541	213,700	104	512
上越	15,000	500	524	78,600	100	504
佐渡	5,250	40	492	25,800	96	503

資料：北陸農政局「農林水産統計」

注：ラウンドの関係で、県計と内訳が必ずしも一致しない

10a 当たり平年収量は農家等が使用しているふるい目幅 (1.85mm) ベース

表 4 - 2 - ( 6 ) 水稻の収量構成要素 (県平均) (令和 7 年産)

区分	穂数の多少	1穂当たり もみ数の多少	全もみ数の多少	千もみ当たり 収量の多少 (登熟)
多少	やや少ない	やや多い	前年並み	前年並み

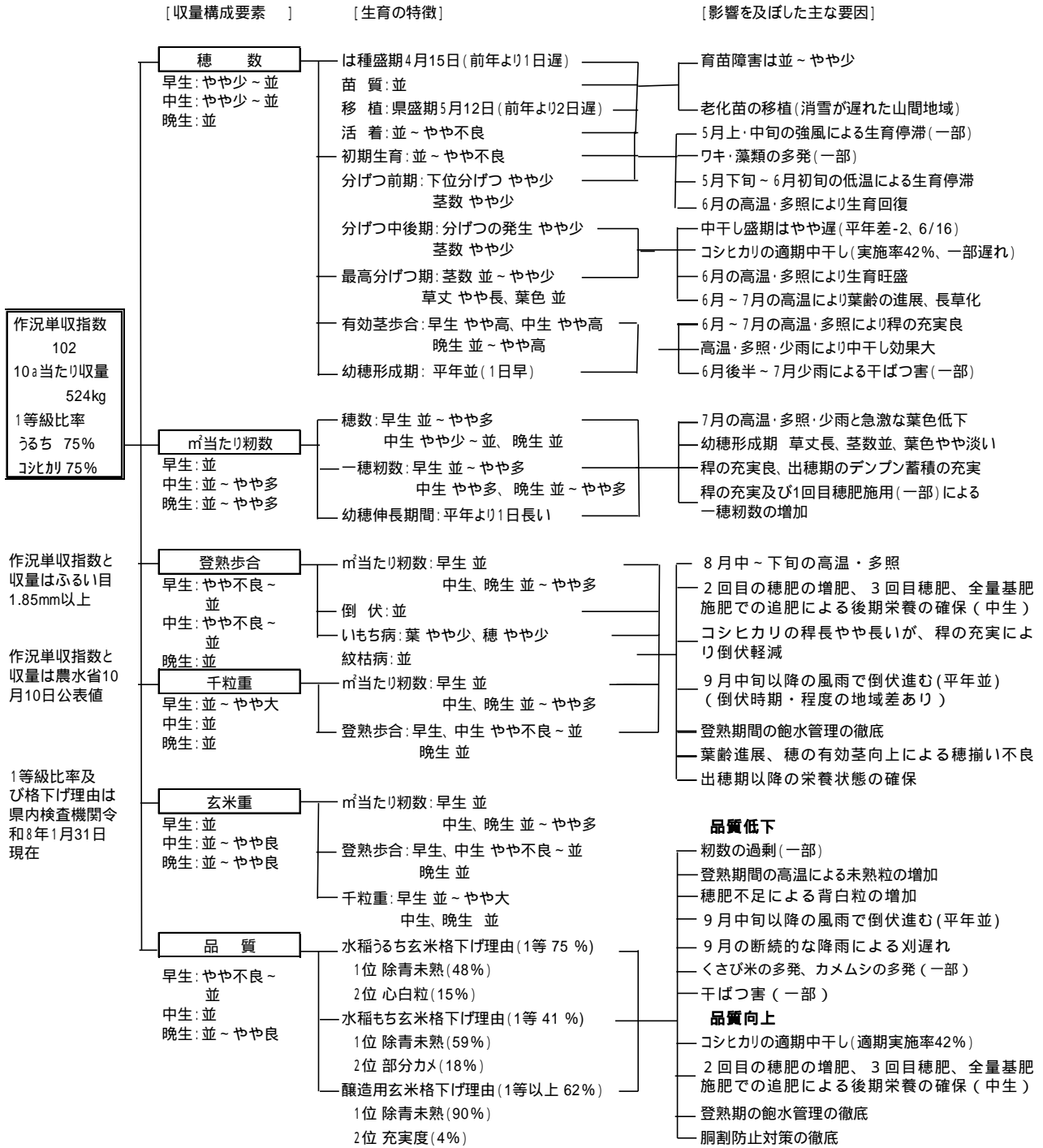
資料：北陸農政局「農林水産統計」

注：各指標は、前年値に比べ、94%以下が少ない、95%～98%がやや少ない、

99%～101%が前年並み、102%～105%がやや多い、106%以上が多い

図4 - 2 - (1) 作柄に影響を及ぼした要因

令和7年度水稲作柄関係図



作況単収指数: 前年までの5か年中豊凶作除く3年平均収量との比  
 農業普及指導センターの報告を集計

(イ) 品質

～うるち玄米の検査等級は1等が75.4%と平年並みを確保～

表4-2-(7) うるち玄米主要品種の等級別比率(令和8年3月末現在)

品 種 名	検査数量 (t)	1 等級 (%)	前年同期	2 等級 (%)	3 等級 (%)	規格外 (%)
			(%)			
コシヒカリ	247,634	77.3	74.1	21.6	0.9	0.3
こしいぶき	86,518	71.7	89.0	27.4	0.7	0.2
新之助	32,568	99.3	97.9	0.5	0.0	0.1
ゆきん子舞	23,317	86.5	87.2	12.6	0.7	0.2
うるち計	436,237	75.4	77.9	22.5	1.1	1.0

資料：北陸農政局「米穀検査結果」

表4-2-(8) コシヒカリの地区別等級比率(令和8年3月末現在)

区分	検査数量 (t)	等級比率(%)			
		1 等級	2 等級	3 等級	規格外
一般地域	132,672	77.2	21.9	0.7	0.2
魚沼	32,604	77.3	21.4	0.9	0.3
岩船	10,954	85.4	13.7	0.7	0.2
佐渡	13,310	63.0	34.0	2.6	0.5
計	189,539	76.7	22.2	0.8	0.3

資料：新潟県内農産物検査機関聞き取り

注：ラウンドの関係で必ずしも合計は100%にならない

(2) 生産性

ア 生産性及び収益性

～令和5年産米の10a当たり生産費は、肥料費・農業薬剤費・光熱動力費などの価格高騰により物財費が増加するとともに、労働費も増加しているため、4.5ポイント増加。また、収量が減少したため60kg当たり生産費は前年から7.3ポイント増加～

表4-2-(9) 令和5年産米生産費調査結果の概要(10a当たり)

	令和5年産 北陸 個別経営			令和4年産 北陸 個別経営	
	金額	構成	対R4	金額	構成
物財費	円 89,849	% 72.9	% 102.8	円 87,391	% 74.7
種苗費	6,003	4.9	93.7	6,410	5.5
肥料費	12,766	10.4	127.3	10,027	8.6
農業薬剤費	8,084	6.6	104.1	7,762	6.6
光熱動力費	5,302	4.3	102.4	5,180	4.4
その他諸材料費	1,703	1.4	125.2	1,360	1.2
土地改良水利費	6,116	5.0	105.2	5,812	5.0
賃借料及び料金	12,707	10.3	75.1	16,923	14.5
物件及び公課諸負担	1,933	1.6	96.6	2,002	1.7
建物費	3,515	2.9	76.1	4,617	3.9
自動車及び農機具費	31,292	25.4	116.7	26,823	22.9
生産管理費	428	0.3	90.1	475	0.4
労働費	33,384	27.1	113.0	29,532	25.3
費用合計	123,233	100.0	105.4	116,923	100.0
副産物価額	1,932		118.2	1,634	
生産費(副産物価格差引)	121,301		105.2	115,289	
支払地代	7,843		108.5	7,230	
支払利子・地代算入生産費	129,395		105.4	122,755	
全算入生産費	144,217		104.5	137,944	
収益性	収量(kg)	495	97.6	507	
	労働時間(hr)*	21.41	109.9	19.48	
60kg当たり生産費	14,730		108.0	13,645	
" 支払利子地代算入費	15,714		108.2	14,529	
" 全算入費	17,514		107.3	16,327	

\* 労働時間 21.41 の内訳・・・ 直接労働時間 20.05 (育苗: 2.04 前年比+9.6%、  
 耕起整地: 2.82 同+11.5%、田植: 2.52 同+10.5%、除草: 0.95 同+14.5%、管理: 5.49 同+7.9%、  
 刈取脱穀: 2.64 同+7.3%、その他: 3.59 同+15.1%) 間接労働時間 1.36(前年比+8.8%)

資料: 農林水産省「米生産費調査」

イ 作付規模別比較

～経営規模が5ha以上の経営体は、10a当たり収量が500kg未満～

表4-2-(10) 令和5年産米生産費調査結果(作付規模別)の概要(北陸、10a当たり)

(単位:円、kg、%、hr)

		北陸平均	0.5ha未満	0.5～1ha	1～3ha	3～5ha	5～10ha	10～15ha	15ha以上
物 財 費		89,849 (100)	206,495 (229.8)	135,935 (151.3)	97,306 (108.3)	83,694 (93.1)	78,854 (87.8)	72,851 (81.1)	80,552 (89.7)
	土地改良・水利費	6,116 (100)	3,433 (56.1)	5,932 (97.0)	5,976 (97.7)	9,339 (152.7)	5,945 (97.2)	4,648 (76.0)	4,226 (69.1)
	賃借料及び料金	12,707 (100)	18,907 (148.8)	20,483 (161.2)	11,140 (87.7)	6,770 (53.3)	13,733 (108.1)	9,437 (74.3)	17,905 (140.9)
	自動車及び農機具費	31,292 (100)	102,949 (329.0)	60,115 (192.1)	37,295 (119.2)	29,055 (92.9)	22,566 (72.1)	24,764 (79.1)	21,905 (70.0)
労 働 費	33,384 (100)	110,850 (332.0)	68,195 (204.3)	43,533 (130.4)	30,858 (92.4)	25,071 (75.1)	15,291 (45.8)	22,157 (66.4)	
生 産 費	121,301 (100)	316,578 (261.0)	201,875 (166.4)	139,055 (114.6)	112,375 (92.6)	101,991 (84.1)	86,627 (71.4)	100,583 (82.9)	
支払地代	7,843 (100)	- -	1,497 (19.1)	1,601 (20.4)	9,669 (123.3)	10,296 (131.3)	12,651 (161.3)	11,203 (142.8)	
支払利子・地代算入生産費	129,395 (100)	316,578 (244.7)	203,414 (157.2)	141,062 (109.0)	122,133 (94.4)	112,526 (87.0)	99,681 (77.0)	112,057 (86.6)	
全 算 入 生 産 費	144,217 (100)	351,865 (244.0)	225,052 (156.1)	163,342 (113.3)	137,442 (95.3)	124,033 (86.0)	107,882 (74.8)	120,117 (83.3)	
収益性	10a当たり収量	495 (100)	539 (108.9)	506 (102.2)	497 (100.4)	516 (104.2)	472 (95.4)	496 (100.2)	491 (99.2)
	労働時間	21.41 (100)	65.63 (306.5)	45.00 (210.2)	27.81 (129.9)	20.23 (94.5)	16.12 (75.3)	9.89 (46.2)	13.79 (64.4)
60kg当たり生産費	14,703 (100)	35,241 (239.7)	23,938 (162.8)	16,787 (114.2)	13,067 (88.9)	12,965 (88.2)	10,479 (71.3)	12,291 (83.6)	
60kg当たり全算入生産費	17,514 (100)	39,195 (223.8)	26,676 (152.3)	19,712 (112.5)	15,998 (91.3)	15,781 (90.1)	13,042 (74.5)	14,639 (83.6)	

資料:農林水産省「米生産費調査」

注:平成29年産調査から県別の水稲作付規模別の数値が非公表となり、北陸地方で一本化

本年の費目欄下段の( )は、北陸平均対比

ウ 全国及び主要米産地比較

～北陸は、全国や他産地に比べ、「土地改良及び水利費」、「支払地代」が高い～

表4 - 2 - (11) 令和5年産米生産費の全国及び米主産地比較(10a当たり)

(単位:円)

		北陸	全国	北海道	東北
物 財 費		89,849	82,513	78,101	75,128
		+ (100)	(92)	(87)	(84)
	種苗費	6,003	4,050	1,695	2,934
		+ (100)	(67)	(28)	(49)
	肥料費	12,766	12,564	12,668	12,730
		+ (100)	(98)	(99)	(100)
	農業薬剤費	8,084	8,051	7,165	8,295
		+ (100)	(100)	(89)	(103)
	光熱動力費	5,302	5,743	5,671	5,526
		- (100)	(108)	(107)	(104)
	その他の諸材料費	1,703	2,058	4,355	1,853
		- (100)	(121)	(256)	(109)
	土地改良及び水利費	6,116	4,029	5,269	4,456
	+ (100)	(66)	(86)	(73)	
賃借料及び料金	12,707	11,606	11,201	10,757	
	+ (100)	(91)	(88)	(85)	
物件税及び公課諸負担	1,933	1,949	2,080	1,685	
	- (100)	(101)	(108)	(87)	
建物費	3,515	3,800	2,861	3,359	
	- (100)	(108)	(81)	(96)	
自動車及び農機具費	31,292	28,212	24,536	23,104	
	+ (100)	(90)	(78)	(74)	
生産管理費	428	451	600	429	
	- (100)	(105)	(140)	(100)	
労 働 費		33,384	34,474	25,055	27,835
		- (100)	(103)	(75)	(83)
生 産 費 (副産物価額差引)		121,301	114,472	98,476	100,358
		+ (100)	(94)	(81)	(83)
支払地代		7,843	4,839	2,247	4,413
		+ (100)	(62)	(29)	(56)
支払利子・地代算入生産費		129,395	119,483	101,120	104,978
		+ (100)	(92)	(78)	(81)
全算入生産費		144,217	132,863	115,711	118,586
		+ (100)	(92)	(80)	(82)
収益性	収 量 (kg)	495	499	547	528
		- (100)	(101)	(111)	(107)
	労働時間(hr)	21.41	21.86	13.83	19.02
		- (100)	(102)	(65)	(89)

資料:農林水産省「米生産費調査」

注:費目欄下段の+または-は、北陸の数値を全国と比較した場合の大小

( )は、北陸を100とした指数

工 農業機械・農業施設の普及状況

～担い手への農地集積に伴い、農業機械の台数は減少傾向で大型化が進む～

表4-2-(12) 主要農業機械の普及状況

機種	能力	平成17年		令和3年			令和4年			令和5年		
		台数 台	構成比 %	台数 台	構成比 %	平成17年対比 %	台数 台	構成比 %	平成17年対比 %	台数 台	構成比 %	平成17年対比 %
トラクタ	10～15PS	19,728	27%	12,833	21%	65%	12,764	21%	65%	12,817	21%	65%
	15～25PS	38,917	54%	32,094	53%	82%	31,363	52%	81%	31,049	52%	80%
	25PS以上	13,627	19%	15,937	26%	117%	15,686	26%	115%	16,104	27%	118%
	計	72,272	100%	60,864	100%	84%	59,813	100%	83%	59,970	100%	83%
	うち共有台数	8,990	12%	8,592	14%	96%	8,545	14%	95%	8,556	14%	95%
田植機	2条～3条植	14,250	21%	6,410	13%	45%	6,651	14%	47%	6,580	14%	46%
	4条～5条植	34,517	52%	25,361	51%	73%	23,619	49%	68%	23,261	48%	67%
	6条植以上	17,604	27%	18,296	37%	104%	17,808	37%	101%	18,142	38%	103%
	計	66,371	100%	50,067	100%	75%	48,078	100%	72%	47,983	100%	72%
	うち共有台数	9,652	15%	8,533	17%	88%	8,136	17%	84%	8,196	17%	85%
自脱型コンバイン	2条刈	34,253	57%	21,430	47%	63%	20,977	47%	61%	20,237	45%	59%
	3条刈	19,499	32%	17,016	37%	87%	16,581	37%	85%	16,509	37%	85%
	4条刈以上	6,692	11%	7,344	16%	110%	7,350	16%	110%	8,110	18%	121%
	計	60,444	100%	45,790	100%	76%	44,908	100%	74%	44,856	100%	74%
	うち共有台数	7,132	12%	7,234	16%	101%	6,589	15%	92%	6,669	15%	94%
乾燥機	計	62,582	-	50,837	-	81%	50,573	-	81%	50,494	-	81%
	うち共有台数	2,841	5%	3,195	6%	112%	3,202	6%	113%	3,282	6%	116%

資料：農産園芸課「新潟県における農業機械普及状況」（数値：各年11月1日現在）

注：「うち共有台数」は、数戸共有、組織共有の台数

H17対比は参考値

表4-2-(13) 主要農業施設の普及状況

	平成12年			平成17年			令和5年		
	施設数	普及面積 ha	普及率 %	施設数	普及面積 ha	普及率 %	施設数	普及面積 ha	普及率 %
育苗センター	292	28,937	24.0	244	19,377	21.5	183	25,476	22.0
カントリーエレベーター	59	21,999	18.2	61	22,426	18.5	57	16,907	14.6
ライスセンター	339	16,396	13.6	325	13,170	14.8	317	12,738	11.0

資料：農産園芸課

注：普及面積は施設処理能力面積の合計

(3) 流通

～令和7年産は、前年からの米価高騰による集荷競争の過熱を受け、仮渡金（概算金）や買取価格の水準が大幅に引き上げられたことにより、前年産よりさらに高値～

表4-2-(14) 米の相対取引価格（年産平均）の推移

（単位：円/60kg）

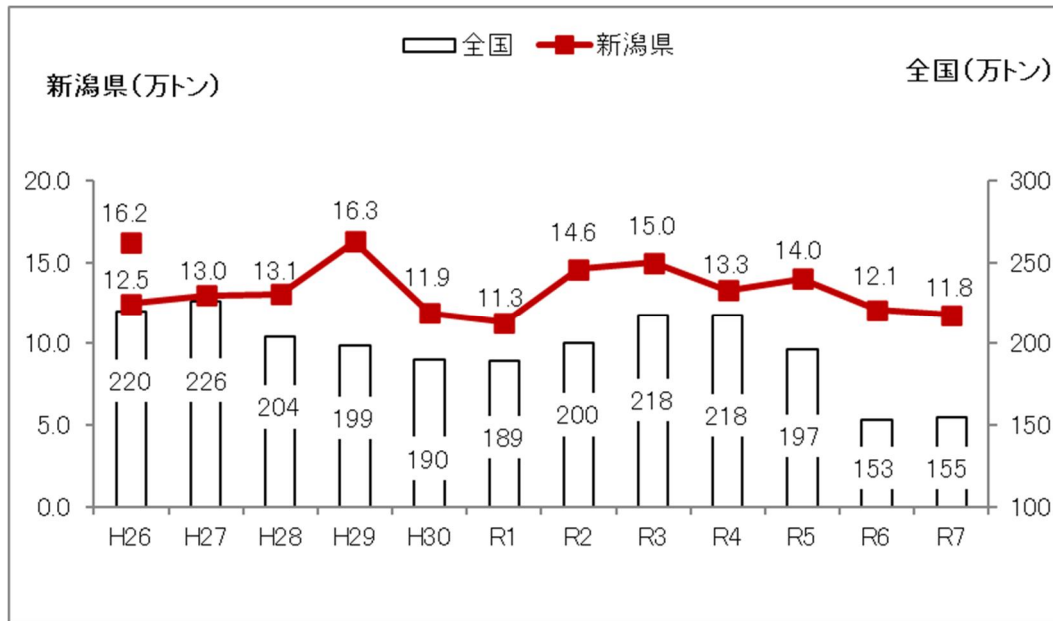
産地	品種銘柄		R2年産	R3年産	R4年産	R5年産	R6年産	R7年産	
									前年比
新潟	コシヒカリ	一般	16,490	15,583	16,553	16,927	25,636	38,502	150%
		魚沼	20,336	20,426	21,021	20,758	26,517	41,925	158%
		岩船	16,969	16,055	16,922	17,325	25,140	38,502	153%
		佐渡	17,072	16,183	17,037	17,441	25,253	38,845	154%
	こしいぶき	14,297	12,541	13,286	14,596	23,552	34,534	147%	
北海道	ゆめぴりか		16,945	15,451	15,451	16,452	28,034	37,403	133%
秋田	あきたこまち		14,453	12,756	13,853	15,317	24,806	37,699	152%
山形	つや姫		18,537	18,376	18,497	18,745	28,137	38,949	138%
富山	コシヒカリ		15,452	13,774	14,984	15,915	26,635	36,047	135%

資料：農林水産省ホームページ（<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>）より作成

注：運賃、包装代、消費税含む

相対取引価格は加重平均価格（ただし、令和7年産は出回りから令和8年3月までの加重平均価格）

図4-2-(2) 民間流通における6月末在庫量の推移



資料：農林水産省「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針(令和7年10月公表)」

注：H26の数値は、全国は、米穀機構による買入数量を控除した値、新潟県は控除前、控除後の両方の数字を記載している。

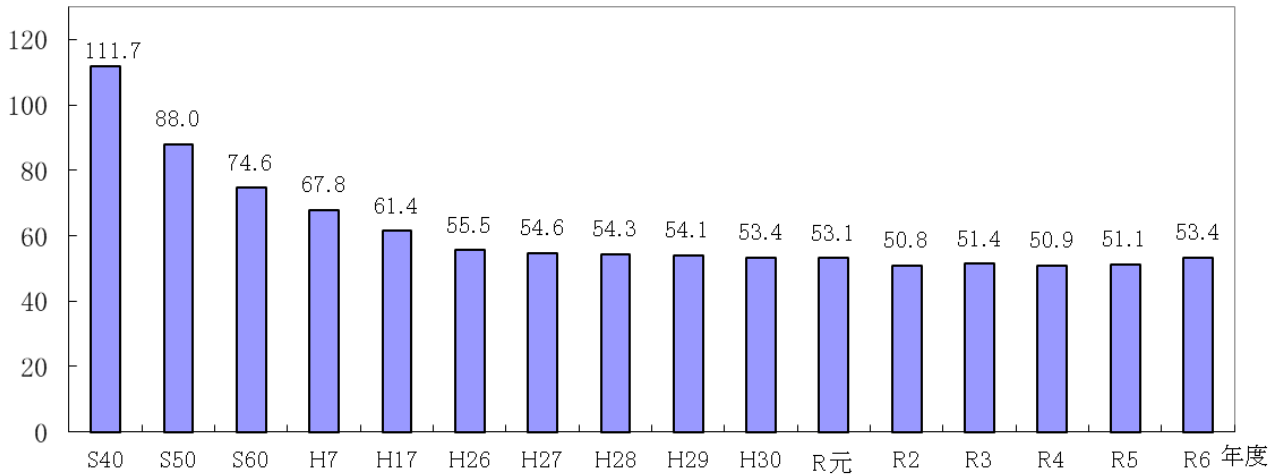
(4) 米消費拡大の動き

～ 1人あたりの米の消費量は減少傾向～

ア 米の消費量

図4 - 2 - (3) 1人当たりの年間米消費量の推移

(単位：kg)



資料：農林水産省「食料需給表」

注1：年間の国内の食料消費費用として仕向けられた数量を総人口で除した値であり、飼料用、種子用、加工用（酒類、みそ等）の米は含まない。なお、菓子、穀粉は含んでいる

注2：R6年度の数値は概算値

表4 - 2 - (15) 県内の男女・年齢別1人1日当たり米消費量

(単位：g)

年齢層	男性					女性				
	15～19歳	20代	30代	40代	平均	15～19歳	20代	30代	40代	平均
H13	240	223	236	240	221	163	136	155	161	156
H16	243	250	217	229	208	158	134	138	148	144
H20	239	196	205	203	193	175	126	133	144	140
H23	227	228	199	221	204	165	125	128	146	141
H27	322	220	198	207	197	159	156	131	147	140
R元	235	224	199	200	195	176	109	114	137	131
R5	234	226	176	178	172	175	148	119	132	124

資料：県福祉保健部健康づくり支援課「県民健康・栄養実態調査」

注1：米消費量に係る項目の調査は概ね4年ごとに実施

注2：平均は全年齢の平均値

注3：数値は、炊飯米重量を精米重量に換算したもの。(炊飯米 100g/精米相当分 47g)

### 3 米の需給調整の取組

(1) 令和7年度の主食用米および非主食用米等の作付状況

～主食用米は前年から7,200ha増加、主食用米の作付意向の高まりにより、麦以外の非主食用米等の作付は大きく減少～

表4-3-(1) 水田における作付面積

(単位：ha)

用途・品種	7年産 作付実績	<参考> 6年産 作付実績	前年差
主食用米	108,600	101,400	+7,200

非 主 食 用 米 等	加工用米	6,642	6,760	118
	新市場開拓用米	1,546	1,830	284
	米粉用米	723	1,389	666
	飼料用米	1,334	2,866	1,532
	WCS用稲	630	687	57
	麦	226	215	+11
	大豆	3,307	3,911	604
	飼料作物	277	295	18
	そば	680	822	142
	備蓄米	0	4,658	4,658

資料：農林水産省「水田における作付状況」

注：面積は基幹作のみ

#### 4 麦・大豆の生産と流通

##### (1) 麦類の生産と流通

～ 六条大麦・小麦ともに作付面積が増加～

表 4 - 4 - ( 1 ) 県産麦類の作付面積と収穫量 ( 子実 )

区分 年産		六条大麦			小麦		
		作付面積 ( ha )	10aあたり 収量 ( kg )	収穫量 ( t )	作付面積 ( ha )	10aあたり 収量 ( kg )	収穫量 ( t )
令和 3 年		132	252	333	69	230	159
令和 4 年		128	286	366	118	296	349
令和 5 年		165	285	470	164	307	504
令和 6 年		165	235	388	186	329	612
令和 7 年		190	241	458	193	276	533
増減率 R6 R7 ( % )		15.2	2.6	18.0	3.8	16.1	12.9
全国 参考	令和 6 年	19,500	278	54,200	231,600	442	1,023,000
	令和 7 年	18,600	310	57,700	229,500	445	1,022,000
	増減率 R6 R7 ( % )	4.6	11.5	6.5	0.9	0.7	0.1

資料：農林水産省「作物統計」

表 4 - 4 - ( 2 ) 県産麦の検査成績

年産	六条大麦				小麦			
	検査数量 ( t )	検査等級比率 ( % )			検査数量 ( t )	検査等級比率 ( % )		
		1 等	2 等	規格外		1 等	2 等	規格外
令和 2 年	530	0.0	100.0	0.0	134	0.0	95.4	4.6
令和 3 年	305	1.7	98.3	0.0	148	18.3	80.6	1.0
令和 4 年	355	0.5	95.7	3.8	337	9.0	90.9	0.2
令和 5 年	456	0.0	98.9	1.1	496	0.0	98.4	1.6
令和 6 年	356	1.7	94.6	3.7	598	13.4	84.0	2.6
令和 7 年	414	4.5	89.1	6.4	517	12.5	86.0	1.5

資料：農林水産省「麦類の農産物検査結果」

注 1：令和 7 年産は、令和 7 年 10 月 31 日現在

注 2：ラウンドの関係で必ずしも合計は 100 にならない

表 4 - 4 - ( 3 ) 県産大麦の流通等の概要

( 単位：トン )

区分 年産	集荷量	市場流通量				規格外等	種子用
		精麦用	麦茶用	小計	うち県内流通量		
令和 3 年	250	250	0	250	244	0	4.5
令和 4 年	309	296	0	296	284	13	7
令和 5 年	388	385	0	385	373	4	7
令和 6 年	312	302	0	302	283	13	7
令和 7 年	349	326	0	326	292	23	9.7

資料：JA 全農にいがたへの聞き取りにより作成

(2) 大豆の生産と流通

～令和7年産の作付面積、収量は前年から減少～

表4-4-(4) 県産大豆の作付面積と収穫量

年産	区分	作付面積			10a当たり 収量 (kg)	収穫量 (t)
		(ha)	うち田 (ha)	畑 (ha)		
	令和3年	4,090	3,920	168	190	7,770
	令和4年	4,200	4,030	166	169	7,100
	令和5年	4,280	4,110	169	166	7,100
	令和6年	4,230	4,070	160	162	6,850
	令和7年	3,650	3,490	160	176	6,420
	増減率 R6 R7 (%)	13.7	14.3	0.0	8.6	6.3
全国 参考	令和6年	154,100	119,600	34,500	164	252,400
	令和7年	144,100	108,100	36,000	181	261,200
	増減率 R6 R7 (%)	6.5	9.6	4.3	10.4	3.5

資料：農林水産省「作物統計」

注：令和7年産は令和8年4月28日公表

表4-4-(5) 県産大豆の検査成績

年産	検査数量 (t)	検査等級比率(%)					上位等級 比率 (1~2等)	種類別比率(%)		
		普通大豆				特定加工用 大豆 合格		大粒	中粒	小粒、 極小粒
		1等	2等	3等	規格外					
令和3年	7,682	2.4	12.3	32.2	1.4	51.1	14.7	91.1	7.6	1.1
令和4年	6,855	1.3	9.6	48.2	1.6	39.3	10.9	87.0	11.4	1.6
令和5年	7,131	2.2	4.9	32.2	2.8	58.0	7.1	63.9	29.9	6.2
令和6年	6,573	3.9	4.9	20.3	2.1	68.9	8.8	67.7	27.2	5.2
令和7年	6,201	1.3	2.1	31.0	3.0	62.6	3.4	75.4	21.3	3.3

資料：農林水産省「大豆の農産物検査結果」

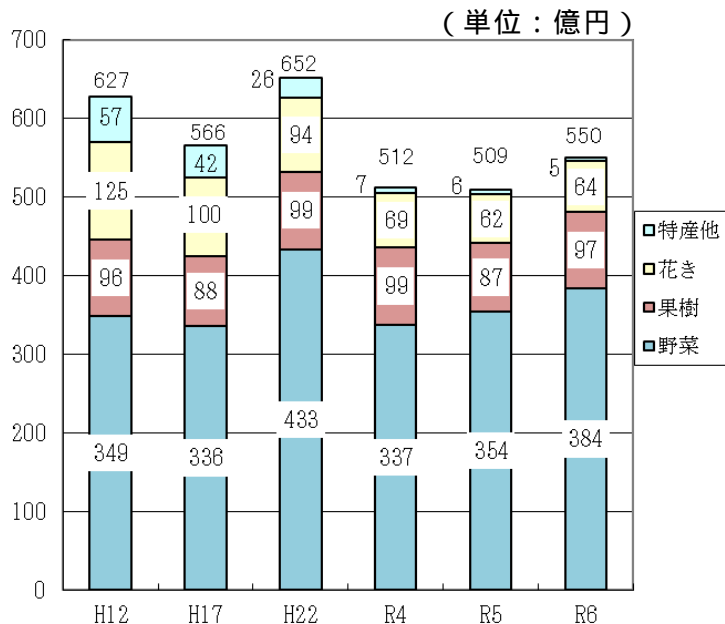
## 5 園芸作物の生産と流通

### (1) 生産の概況

～令和6年度の園芸産出額は、野菜、果樹、花きともに増加したが、農業産出額に占める園芸シェアは減少～

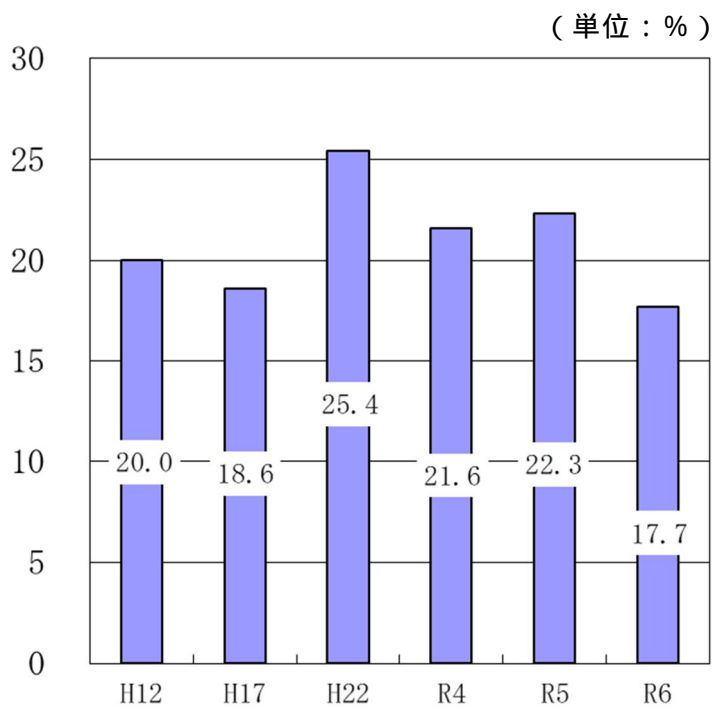
#### ア 産出額の推移

図4-5-(1) 園芸産出額の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

図4-5-(2) 県農業産出額に占める園芸シェア



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

イ 主要品目の出荷状況

表 4 - 5 - ( 1 ) 主要品目の出荷状況

( 単位 : t , 千球 , 千本 )

主要品目		H12年	H17年	H22年	R4年	R5年	R6年	R6/H12 ( % )	R6/R5 ( % )
野	さといも	3,690 (1,668)	3,250 (1,471)	4,020 (1,713)	4,590 (1,484)	3,820 (1,383)	3,650 (1,523)	98.9 91.3	95.5 110.1
	アスパラガス	487 (424)	(527)	682 (429)	554 (191)	512 (182)	600 (188)	123.2 44.3	117.2 103.3
	ね ぎ	10,100 (5,501)	8,550 (5,011)	8,550 (3,911)	8,580 (3,059)	6,840 (2,390)	6,290 (2,426)	62.3 44.1	92.0 101.5
	きゅうり	8,720 (4,077)	7,120 (3,092)	7,830 (2,588)	5,320 (2,081)	5,120 (1,906)	5,440 (1,905)	62.4 46.7	106.3 99.9
	なす	4,230 (1,179)	3,170 (790)	2,820 (658)	2,800 (312)	2,700 (276)	4,400 (301)	104.0 25.5	163.0 109.1
	ト マ ト	11,000 (4,024)	8,740 (2,775)	8,510 (1,677)	5,660 (1,053)	6,100 (944)	6,780 (968)	61.6 24.1	111.1 102.5
	えだまめ	3,500 (966)	3,570 (1,187)	3,710 (1,006)	3,010 (1,089)	2,400 (875)	2,500 (680)	71.4 70.4	104.2 77.7
	い ち ご	725 (412)	(627)	933 (620)	1,170 (554)	1,730 (564)	1,560 (525)	215.2 127.4	90.2 93.1
	す い か	19,200 (15,195)	17,500 (14,653)	14,000 (11,092)	17,100 (13,112)	14,100 (12,266)	14,900 (11,484)	77.6 75.6	105.7 93.6
果 樹	か き	10,400 (7,873)	13,600 (11,644)	8,970 (7,277)	11,500 (8,686)	8,210 (6,135)	9,750 (7,334)	93.8 93.2	118.8 119.5
	日 本 な し	15,900 (8,783)	16,700 (10,131)	12,300 (7,607)	8,610 (6,830)	4,310 (3,491)	5,350 (4,679)	33.6 53.3	124.1 134.0
	西 洋 な し	1,270 (654)	1,580 (1,046)	1,500 (864)	1,860 (1,183)	1,360 (690)	1,430 (692)	112.6 105.8	105.1 100.3
	ぶ ど う	3,680 (1,401)	2,960 (1,192)	2,310 (822)	1,800 (410)	1,750 (382)	1,770 (425)	48.1 30.3	101.1 111.3
	も も	3,100 (1,685)	2,890 (1,617)	2,190 (1,045)	1,680 (837)	1,450 (733)	1,540 (774)	49.7 45.9	106.2 105.6
	い ち じ く	109 (94)	214 (184)	329 (219)	243 (251)	(232)	(277)	294.7	119.4
花 き	チューリップ切り花	32,000 (28,688)	22,200 (22,787)	(15,830)	(11,757)	(9,856)		0.0	0.0
	ユリ切り花	22,600 (6,187)	16,600 (13,604)	16,300 (11,918)	11,000 (8,019)	9,640 (7,703)	9,490 (7,681)	42.0 124.1	98.4 99.7
	チューリップ球根	40,500	25,200						
	ユリ球根	4,340	3,970						
	アザレア	5,097							

資料：農林水産省「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「特産果樹生産動態等調査」、  
「花き生産出荷統計」、全農県本部「品目別取扱実績」

注：数値は出荷量、野菜及び果樹の上段は県総体量、下段（ ）内は系統共販

ウ 施設化・機械化の状況

(ア) 施設化の状況

表 4 - 5 - ( 2 ) 本県の部門別施設の経営農家数及び面積の推移

(農家数：戸、面積：ha)

種類別 年次	野菜		果樹		花き		計	
	農家数	面積	農家数	面積	農家数	面積	農家数	面積
H9年	2,930	231	293	112	1,458	100	4,681	443
H11年	3,000	277	342	97	1,521	119	4,863	493
H13年	2,889	282	419	98	1,670	128	4,978	508
H15年	3,051	295	474	99	1,579	138	5,104	532
H17年	3,261	331	485	102	1,353	121	5,099	554
H19年	3,311	346	406	99	1,088	109	4,805	554
H21年	2,765	295	451	90	1,043	130	4,259	515
H24年	2,344	346	431	85	972	106	3,747	537
H26年	2,841	357	254	84	770	96	3,865	537
H28年	2,861	361	264	85	813	96	3,938	542
H30年	2,798	361	267	72	737	96	3,802	529
R2年	2,826	371	264	68	665	91	3,755	530
R4年	2,532	278	278	64	603	86	3,413	428
R6年	2,512	282	282	63	598	85	3,392	430

資料：農林水産省「園芸用施設の設置等の状況把握調査」（隔年調査）

注：H9年～24年：前年7月から当年6月までの実績

H26年～：11月から翌10月までの実績

表 4 - 5 - ( 3 ) 本県の雨よけ面積の推移

種類別 年次	雨よけ			計
	野菜	果樹	花き	
H9年	62	20	25	107
H11年	16	22	16	54
H13年	15	25	20	60
H15年	19	53	25	97
H17年	22	37	25	84
H19年	95	46	26	167
H21年	74	45	36	155
H24年	46	36	22	104
H26年	25	33	22	80
H28年	25	33	22	80
H30年	25	33	22	80
R2年	24	34	20	78

(単位：ha)

資料：農林水産省「園芸用施設の設置等の状況把握調査」（隔年調査）

注：H9年～24年：前年7月から当年6月までの実績

H26年～R2年：11月から翌10月までの実績

R4年以降は調査項目が廃止されたためデータがない。

(イ) 機械化の状況

表 4 - 5 - ( 4 ) 園芸機械の普及台数

(単位：台、%)

作目	普及台数						
	H9 第1回 調査	H22	H25	R3	R4	R5	R5/H9
野菜	2,659	3,662	3,684	4,540	4,513	4,590	172.6
果樹	2,854	2,985	3,013	3,125	2,954	3,096	108.5
花き	713	705	732	678	675	675	94.7
合計	6,226	7,352	7,429	8,343	8,142	8,389	134.7

資料：農産園芸課

(2) 野菜の生産

～令和6年産は、露地品目を中心に収穫量・出荷量は伸び悩み～

ア 生産量・出荷量

表4-5-(5) 主要品目別生産出荷状況

項 目	作付面積 ( h a )				収穫量 ( t )				出荷量 ( t )			
	R4年	R5年	R6年	R6/R5	R4年	R5年	R6年	R6/R5	R4年	R5年	R6年	R6/R5
だいこん	1,260	1,220	1,220	100.0	43,800	39,100	39,100	100.0	37,000	32,300	32,300	100.0
かぶ	130	97	95	97.9	3,060	2,510	2,120	84.5	2,600	2,050	1,740	84.9
にんじん	233	206	204	99.0	5,850	4,480	4,320	96.4	5,160	3,900	3,760	96.4
ごぼう	90	...	...	-	835	...	...	-	670	...	...	-
れんこん	150	...	...	-	2,070	...	...	-	1,860	...	...	-
ばれいしょ	569	...	...	-	7,050	...	...	-	2,020	...	...	-
さといも	530	521	516	99.0	6,410	5,680	5,470	96.3	4,590	3,820	3,650	95.5
やまのいも	68	...	...	-	1,000	...	...	-	893	...	...	-
ながいも	...	...	...	-	...	...	...	-	...	...	...	-
はくさい	330	330	330	100.0	7,020	5,460	5,060	92.7	4,320	2,920	2,730	93.5
こまつな	115	108	106	98.1	1,330	1,320	1,220	92.4	1,000	990	915	92.4
キャベツ	434	...	...	-	10,300	...	...	-	7,990	...	...	-
ちんげんさい	24	...	...	-	504	...	...	-	454	...	...	-
ほうれんそう	150	...	...	-	1,030	...	...	-	910	...	...	-
ぶき	15	15	15	100.0	85	85	89	104.7	75	75	79	105.3
みつば	17	...	...	-	245	...	...	-	230	...	...	-
しゅんぎく	28	25	25	100.0	305	318	290	91.2	216	229	213	93.0
みずな	7	...	...	-	100	...	...	-	90	...	...	-
セルリー	7	...	...	-	27	...	...	-	25	...	...	-
アスパラガス	195	185	189	102.2	638	596	684	114.8	554	512	600	117.2
カリフラワー	90	86	85	98.8	1,220	1,060	1,110	104.7	1,020	860	900	104.7
ブロッコリー	180	...	...	-	1,940	...	...	-	1,750	...	...	-
レタス	53	...	...	-	577	...	...	-	403	...	...	-
ねぎ	591	545	539	98.9	10,400	8,500	7,900	92.9	8,580	6,840	6,290	92.0
にら	10	...	...	-	273	...	...	-	245	...	...	-
たまねぎ	230	...	...	-	4,090	...	...	-	2,700	...	...	-
にんにく	28	...	...	-	106	...	...	-	65	...	...	-
きゅうり	383	365	365	100.0	8,530	7,910	7,910	100.0	5,320	5,120	5,440	106.3
かぼちゃ	290	250	243	97.2	3,130	2,680	2,840	106.0	1,600	1,150	1,330	115.7
なす	455	430	430	100.0	5,730	5,460	8,820	161.5	2,800	2,700	4,400	163.0
トマト	347	335	345	103.0	8,360	8,710	9,040	103.8	5,660	6,100	6,780	111.1
ピーマン	63	60	60	100.0	649	636	447	70.3	350	380	373	98.2
スイートコーン	375	...	372	-	3,830	...	3,690	-	2,300	...	2,200	-
さやいんげん	75	...	74	-	366	...	353	-	220	...	208	-
さやえんどう	58	58	58	100.0	266	258	228	88.4	64	56	50	89.3
グリーンピース	0	...	...	-	3	...	...	-	2	...	...	-
そらまめ	48	41	40	97.6	399	459	440	95.9	279	335	311	92.8
えだまめ	1,530	1,410	1,400	99.3	4,010	3,400	3,500	102.9	3,010	2,400	2,500	104.2
しょうが	2	...	...	-	27	...	...	-	24	...	...	-
いちご	80	80	80	100.0	1,260	1,830	1,660	90.7	1,170	1,730	1,560	90.2
メロン	140	...	...	-	3,440	...	...	-	2,750	...	...	-
すいか	480	432	430	99.5	19,000	15,200	16,200	106.6	17,100	14,100	14,900	105.7
かんしょ	...	...	...	-	...	...	...	-	...	...	...	-

資料：農林水産省「野菜生産出荷統計」「作物統計調査」、表の「・・・」は国未調査又は未公表

(3) 果樹の生産

～令和6年産は、高温障害や日照不足等によりなしの収穫量・出荷量は伸び悩み～

表4-5-(6) 果樹の生産出荷実績

品目	栽培面積 (ha)				収穫量 (t)				出荷量 (t)			
	R4年	R5年	R6年	R6/R5	R4年	R5年	R6年	R6/R5	R4年	R5年	R6年	R6/R5
かき	642	629	616	97.9	12,500	8,920	10,600	118.8	11,500	8,210	9,750	118.8
日本なし	373	361	357	98.9	9,360	4,690	5,820	124.1	8,610	4,310	5,350	124.1
西洋なし	112	110	110	100.0	2,110	1,540	1,620	105.2	1,860	1,360	1,430	105.1
ぶどう	239	237	233	98.3	2,060	2,010	2,040	101.5	1,800	1,750	1,770	101.1
もも	208	204	203	99.5	1,900	1,640	1,740	106.1	1,680	1,450	1,540	106.2
いちじく	30	-	-	-	248	-	-	-	243	-	-	-

資料：農林水産省「作物統計」「果樹生産出荷統計」「特産果樹生産動態等調査」

(4) 花きの生産

～令和6年産は、寒冷紗等で高温対策を強化したユリ切り花が出荷量で持ち直し～

表4-5-(7) 花き作付面積、出荷量

	面積 (ha)				出荷量 (千本、千鉢)			
	R4年	R5年	R6年	R6/R5	R4年	R5年	R6年	R6/R5
切り花類	200	193	188	97.4	34,200	31,100	32,900	105.8
ユリ	113	103	102	99.0	11,000	9,640	9,490	98.4
球根類	87	84	74	88.1	12,400	11,300	9,720	86.0
鉢物類	73	70	69	98.6	7,460	6,620	6,160	93.1
花木類	56	50	50	100.0	5,450	4,490	4,090	91.1
花き苗類	-	-	-	-	-	-	-	-

資料：農林水産省「花き生産出荷統計」

注：ラウンドのため計は一致しない場合がある。

鉢物類は収穫面積を記載

(5) 工芸・特産作物の生産

～令和7年産の葉たばこは、高温・干ばつの影響はあったものの、令和6年産と比較すると販売量・販売金額ともに増加～

ア 葉たばこ

表4-5-(8) 葉たばこ生産の推移

区分	種類	H12年	H24年	R4年	R5年	R6年	R7年	R7/R6
作付戸数(戸)	黄色種	453	101	44	42	43	41	95%
	バーレー種	419	52	3	3	2	2	100%
	計	872	153	47	45	45	43	96%
作付面積(ha)	黄色種	733	194	94	72	95	88	93%
	バーレー種	246	41	2	2	1	1	100%
	計	979	235	97	74	96	89	93%
販売量(t)	黄色種	1,909	406	256	173	199	218	110%
	バーレー種	623	91	6	6	3	2	67%
	計	2,532	497	262	179	202	220	109%
販売金額(百万円)	黄色種	3,567	818	464	294	404	413	102%
	バーレー種	1,101	172	12	11	6	3	50%
	計	4,668	990	476	305	410	416	101%
10a当たり販売重量(kg)	黄色種	260	209	272	240	211	247	117%
	バーレー種	253	221	249	269	274	268	98%
	計	259	211	271	241	211	247	117%

資料：北越たばこ耕作組合

平成23年及び令和3年に大規模な廃作募集があり、平成24年及び令和4年からそれぞれ大幅に減少した。

イ 養蚕・特産

表4-5-(9) 繭の生産状況

項目		H12年	H20年	H21年	H22年	R5年	R6年	R7年	R7/R6
養蚕	養蚕農家数(戸)	37	14	15	12	5	5	6	120%
	掃立卵量(箱)	169	10.9	11.3	7.8	2.0	1.5	2.0	133%
	総収繭量(t・kg)	5.2	0.4	0.4	0.3	73.2	54.8	72.9	133%
桑園	全桑園面積(ha)	141	22	-	-	-	-	-	-
	うち使用面積(ha)	28	2	-	-	-	-	-	-
	うち未使用面積(ha)	113	20	-	-	-	-	-	-

資料：JA北新潟、農林水産省

桑園の面積調査は年度単位(H20年度に調査終了)。

総収繭量の単位について、H22年までは「t」、R5からは「kg」。

表4-5-(10) 特産物の生産状況

作物名	R4年			R5年			R6年			R6/R5(%)		
	栽培面積(ha)	戸数(戸)	生産量(t)	栽培面積(ha)	戸数(戸)	生産量(t)	栽培面積(ha)	戸数(戸)	生産量(t)	栽培面積	戸数	生産量
薬草	16.1	102	20.2	11.4	91	18.9	12.2	95	15.7	106.7	104.4	83.3
自然薯	1.9	78	10.0	1.7	68	10.3	1.6	70	10.3	95.4	102.9	100.1
茶	20.1	42	11.7	18.2	39	13.3	16.0	24	10.5	87.9	61.5	78.9
こうぞ	3.1	5	6.0	2.5	5	5.1	2.6	5	5.1	102.0	100.0	100.4
こんにゃく	4.1	63	14.9	3.5	52	10.6	3.3	58	11.2	92.3	111.5	105.7
落花生	2.7	25	4.6	3.7	40	3.7	2.6	36	2.7	69.9	90.0	73.9

資料：薬草、こうぞ・・・(財)日本特産農産物協会調査 茶・・・農林水産省(注：「茶」の生産量は荒茶生産量)

自然薯、こんにゃく、落花生・・・(財)日本特産農産物協会調査に併せて、農産園芸課が独自に調査(H14～)

(6) 園芸作物の流通

～令和5年の卸売市場における取扱量及び取扱金額は野菜・果実ともに減少～

ア 青果物の県内市場への入荷動向

(ア) 野菜の入荷動向

表4-5-(11) 新潟市中央卸売市場における野菜の取扱数量及び金額の推移

(単位：t、%、百万円)

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
取扱量合計(A)	47,405	45,215	44,166	42,739	38,578
県内産(B)	11,836	11,832	11,044	9,512	8,886
県外産	35,569	33,383	33,122	33,227	29,692
うち輸入	1,640	1,201	1,131	903	1,007
県内産割合(B/A)	25.0%	26.2%	25.0%	22.3%	23.0%
取扱金額	10,915	10,126	10,716	10,479	10,253

資料：「新潟市中央卸売市場年報」

(イ) 果実の入荷動向

表4-5-(12) 新潟市中央卸売市場における果実の取扱数量及び金額の推移

(単位：t、%、百万円)

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
取扱量合計(A)	24,940	23,965	24,723	22,179	20,998
県内産(B)	7,068	6,867	9,326	7,430	7,610
県外産	17,872	17,098	15,397	14,749	13,388
うち輸入	6,790	5,718	4,534	4,239	3,864
県内産割合(B/A)	28.3%	28.7%	37.7%	33.5%	36.2%
取扱金額	7,781	7,837	8,102	8,053	8,234

資料：「新潟市中央卸売市場年報」

「青果部年別取扱高表」

イ 青果物の価格動向

(ア) 価格の動き

表4-5-(13) 新潟市中央卸売市場における価格の推移

(単位：円/kg、%)

区分	年	平成12年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	対比
							R6/R5
野菜	平均価格	187	224	243	245	266	108.6%
	県産価格	205	242	261	289	320	110.7%
果実	平均価格	233	327	328	363	392	108.0%
	県産価格	260	378	324	377	393	104.2%

資料：「新潟市中央卸売市場年報」

(イ) 野菜価格安定事業

表4-5-(14) 野菜価格安定事業実施状況

(単位：t、千円)

区分		年度	年度				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
国	指定野菜価格安定対策事業	予約数量	6,389	6,327	5,859	5,204	4,810
		価格差補給金	63,840	11,618	272	176	385
	特定野菜等供給産地育成価格差補給事業	予約数量	6,225	4,160	4,160	4,160	3,810
		価格差補給金	0	0	0	0	0
県	園芸振興価格安定事業	予約数量	3,443	3,719	3,844	2,776	2,778
		価格差補給金	27,156	24,843	4,140	2,329	1,877
計		予約数量	16,057	14,206	13,863	12,140	11,398
		価格差補給金	90,996	36,461	4,412	2,505	2,262

資料：(独)農畜産業振興機構、(公社)新潟県農作物価格安定協会

注1：特定野菜制度の価格差補給金は特別補給交付金(県単)を含む

注2：R7年度の価格差補給金額は令和8年1月末日現在の補給額

ウ 輸入野菜の状況

(ア) 生鮮野菜の輸入

表4-5-(15) 全国の輸入状況

(単位：t、%)

品目名 輸入年次	生鮮野菜		冷凍野菜	塩蔵等野菜	乾燥野菜	酢調製野菜	トマト加工品	その他調製野菜	その他	合計	対前年比
	対前年比										
平成30年	983,453	114.1	1,075,292	86,223	46,543	32,210	259,474	426,736	18,474	2,928,405	106.4
令和元年	822,040	83.6	1,112,322	79,894	46,108	32,558	262,906	403,958	17,111	2,776,897	94.8
令和2年	713,589	86.8	1,057,632	69,700	41,594	30,019	282,163	393,497	16,047	2,604,241	93.8
令和3年	707,665	99.2	1,099,401	66,107	43,876	31,879	264,200	389,545	16,081	2,618,754	100.6
令和4年	702,301	99.2	1,172,940	72,271	41,825	34,407	273,312	397,309	16,474	2,710,839	103.5
令和5年	647,592	91.5	1,141,465	69,452	40,936	30,452	252,638	366,185	15,167	2,563,887	97.9
令和6年	575,795	88.9	985,052	50,846	33,959	25,688	240,010	297,441	11,070	2,219,861	86.6
対前年比	88.9	-	86.3	73.2	83.0	84.4	95.0	81.2	73.0	86.6	-

資料：農畜産業振興機構「ベジ探」、原資料：財務省「貿易統計」

注1：輸入統計品目の改正が行われるため、正確な時系列比較には難点がある。

注2：「食料需給表」の輸入量は、野菜加工品については生鮮に換算したものであること、また、品目の特定ができないものについては計上していないこと等から、本表の輸入量の合計とは一致しない。

表 4 - 5 - (16) 新潟市中央卸売市場への輸入野菜入荷動向

(単位：t、%)

区分 \ 年次	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
野菜入荷量	47,405	45,215	44,166	42,739	38,578
うち輸入量	1,640	1,201	1,131	903	1,007
輸入品シェア	3.5%	2.7%	2.6%	2.1%	2.6%

資料：「新潟市中央卸売市場年報」

## エ 花きの流通

## (ア) 花きの出荷動向

表 4 - 5 - (17) 県内産花きの出荷状況

(単位：千本、千鉢、千球、%)

区分 \ 年次	平成17年	平成27年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	対 比
							R6/R5
切り花	58,700	45,600	35,500	34,200	31,100	32,900	106
うち ゆり	16,600	14,300	11,500	11,000	9,640	9,490	98
うち チューリップ	22,200	-	-	-	-	-	-
うち きく	-	-	-	-	-	-	-
鉢もの	14,700	10,800	8,160	7,460	6,620	6,160	93
花壇用苗もの	-	-	-	-	-	-	-
球根類	37,500	19,600	13,300	12,400	11,300	9,720	86

資料：農林水産省「花きの作付(収穫)面積及び出荷量」

注1：平成 17、27 年、令和 3 年～における「きく」及び「花壇用苗もの」の出荷量は、公表データがないため掲載していない

注2：平成 19 年から「チューリップ」の出荷量の公表がなくなった

## (イ) 球根類の輸入状況

表 4 - 5 - (18) 全国の球根類輸入数量、金額の推移

(単位：千球、百万円、円/球、%)

区分 \ 年次	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	対比
						R6/R5
輸入数量	283,941	303,179	288,891	264,615	244,113	92
輸入金額	5,348	6,042	7,048	7,421	7,612	103
単価	19	20	24	28	31	111

資料：財務省「貿易統計」(農林水産省 HP「統計情報」より)

## 6 畜産物の生産と流通

### (1) 家畜の飼養動向

～ 乳用牛と肉用牛で飼養戸数・頭数ともに減少傾向、飼育規模は現状維持～

表 4 - 6 - ( 1 ) 家畜飼養戸数及び頭羽数 ( 令和 7 年 2 月 1 日現在 )  
( 単位 : 戸、頭、千羽、% )

区分	飼養戸数		飼養頭羽数		1 戸当たり飼養	
		対前年比		対前年比	頭羽数	対前年比
乳用牛	122	91.7	4,650	92.1	38.1	100.4
肉用牛	164	93.2	11,500	95.8	70.1	102.8
豚	76	107.0	150,600	112.9	1,981.6	105.5
採卵鶏	27	84.4	3,283	126.1	121.6	149.5
ブロイラー	14	140.0	1,191	99.2	85.1	70.8

資料：農林水産省「畜産統計」、県畜産課「家畜生産実態調査」

注：採卵鶏の飼養羽数は 150 日齢以上の成鶏めすの羽数

#### ア 乳用牛

表 4 - 6 - ( 2 ) 乳用牛飼養戸数及び頭数 ( 各年 2 月 1 日現在 )  
( 単位 : 戸、頭、% )

区分	飼 養 戸 数			飼 養 頭 数			1 戸当たり飼養頭数	
		対前年比			対前年比			
平成 27 年	230	93.9	(100.0)	7,660	95.2	(100.0)	33.3	(100.0)
令和 2 年	177	92.2	(77.0)	6,220	97.6	(81.2)	35.1	(105.5)
令和 5 年	143	92.3	(62.2)	5,500	93.9	(71.8)	38.5	(115.5)
令和 6 年	133	93.0	(57.8)	5,050	91.8	(65.9)	38.0	(114.0)
令和 7 年	122	91.7	(53.0)	4,650	92.1	(60.7)	38.1	(114.4)

資料：農林水産省「畜産統計」

注：( ) 内は、平成 27 年を 100 とした指数

#### イ 肉用牛

表 4 - 6 - ( 3 ) 肉用牛飼養戸数及び頭数 ( 各年 2 月 1 日現在 )  
( 単位 : 戸、頭、% )

区分	飼 養 戸 数			飼 養 頭 数				1 戸当たり飼養頭数	
		対前年比			対前年比		肉専用種		乳用種
平成 27 年	243	93.5	(100.0)	11,800	91.5	(100.0)	4,590 (100.0)	7,210 (100.0)	48.6 (100.0)
令和 2 年	191	88.8	(78.6)	12,600	100.0	(106.8)	5,300 (115.5)	7,260 (100.7)	66.0 (135.9)
令和 5 年	179	100.6	(73.7)	11,700	103.5	(99.2)	5,850 (127.5)	5,860 (81.3)	65.4 (134.6)
令和 6 年	176	98.3	(72.4)	12,000	102.6	(101.7)	6,330 (137.9)	5,650 (78.4)	68.2 (140.4)
令和 7 年	164	93.2	(67.5)	11,500	95.8	(97.5)	6,120 (133.3)	5,400 (74.9)	70.1 (144.4)

資料：農林水産省「畜産統計」

注 1：( ) 内は、平成 27 年を 100 とした指数

注 2：飼養頭数の合計は 100 頭未満を四捨五入しているため、内訳とは一致しない

ウ 豚

表 4 - 6 - ( 4 ) 豚飼養戸数及び頭数 ( 各年 2 月 1 日現在 )

( 単位 : 戸、頭、% )

区分	飼 養 戸 数			飼 養 頭 数					1 戸 当 た り 飼 養 頭 数		
		対前年比			対前年比		繁殖用雌豚	対前年比			
平成 27 年	116	91.3	(100.0)	192,445	107.5	(100.0)	17,845	101.4	(100.0)	1,659.0	(100.0)
令和 2 年	106	95.5	(91.4)	183,700	101.7	(95.5)	13,800	90.2	(77.3)	1,733.0	(104.5)
令和 5 年	81	88.0	(69.8)	157,900	94.7	(82.0)	14,300	93.5	(80.1)	1,949.4	(117.5)
令和 6 年	71	87.7	(61.2)	133,400	84.5	(69.3)	13,200	92.3	(74.0)	1,878.9	(113.3)
令和 7 年	76	107.0	(65.5)	150,600	112.9	(78.3)	11,500	87.1	(64.4)	1,981.6	(119.4)

資料 : 農林水産省「畜産統計」、県畜産課「家畜頭羽数調査」、「家畜生産実態調査」

注 1 : 繁殖用雌豚とは、生後 6 か月以上で子豚を生産することを目的として飼養している雌豚をいう。ただし、平成 27 年数値では生後 8 か月、令和 2 年、7 年数値では生後 12 か月以上

注 2 : ( ) 内は、平成 27 年を 100 とした指数

注 3 : 畜産統計調査休止のため、平成 27 年は県畜産課「家畜頭羽数調査」、令和 2 年、7 年は県畜産課「家畜生産実態調査」の数値

エ 鶏 ( 採卵鶏、ブロイラー )

( ア ) 採卵鶏

表 4 - 6 - ( 5 ) 採卵鶏飼養戸数及び羽数 ( 各年 2 月 1 日現在 )

( 単位 : 戸、千羽、% )

区 分	飼 養 戸 数			飼 養 頭 羽 数					1 戸 当 た り 成 鶏 め す 飼 養 羽 数		
		対前年比			対前年比		成 鶏 め す 羽 数	対前年比			
平成 27 年	47	92.2	(100.0)	6,512	120.5	(100.0)	5,028	93.1	(100.0)	107.0	(100.0)
令和 2 年	42	100.0	(89.4)	6,878	104.6	(105.6)	5,306	104.8	(105.5)	126.3	(118.1)
令和 5 年	35	94.6	(74.5)	4,669	67.2	(71.7)	3,296	77.2	(65.6)	94.2	(88.0)
令和 6 年	32	91.4	(68.1)	4,695	100.6	(72.1)	2,603	79.0	(51.8)	81.3	(76.0)
令和 7 年	27	84.4	(57.4)	4,938	105.2	(75.8)	3,283	126.1	(65.3)	121.6	(113.7)

資料 : 農林水産省「畜産統計」、県畜産課「家畜頭羽数調査」、「家畜生産実態調査」

注 1 : 成鶏めす羽数は 6 か月齢以上の羽数をいう。ただし令和 2 年、7 年は 150 日齢以上の羽数。

注 2 : 飼養戸数及び羽数は、種鶏のみの飼養者及び 1,000 羽未満の飼養者を除く

注 3 : ( ) 内は、平成 27 年を 100 とした指数

注 4 : 畜産統計調査休止のため、平成 27 年は県畜産課「家畜頭羽数調査」、令和 2 年、7 年は県畜産課「家畜生産実態調査」の数値であり、ひな鶏のみの飼養者も含んだ飼養戸数及び羽数となっている。

( イ ) ブロイラー

表 4 - 6 - ( 6 ) ブロイラー飼養戸数及び羽数 ( 各年 2 月 1 日現在 )

( 単位 : 戸、千羽、% )

区 分	飼 養 戸 数			飼 養 羽 数			1 戸 当 た り 飼 養 羽 数	
		対前年比			対前年比			
平成 27 年	13	100.0	(100.0)	612	115.0	(100.0)	47.1	(100.0)
令和 2 年	11	110.0	(84.6)	1,011	87.2	(165.2)	91.9	(195.2)
令和 5 年	10	111.1	(76.9)	1,254	-	(204.9)	125.4	(266.4)
令和 6 年	10	100.0	(76.9)	1,201	95.8	(196.2)	120.1	(255.1)
令和 7 年	14	140.0	(107.7)	1,191	99.2	(194.6)	85.1	(180.7)

資料 : 農林水産省「畜産統計」、県畜産課「家畜頭羽数調査」、「家畜生産実態調査」

注 1 : ( ) 内は、平成 27 年を 100 とした指数

注 2 : 畜産統計調査休止のため、平成 27 年は県畜産課「家畜頭羽数調査」、令和 2 年、7 年は県畜産課「家畜生産実態調査」の数値

(2) 畜産物の生産と流通

～ 乳用牛の飼養頭数の減少により、生乳生産量は減少が続く～

ア 牛乳の需要動向

表 4 - 6 - ( 7 ) 牛乳の需要動向

( 単位 : t、% )

区 分	生乳生産量		生乳処理量		仕 向 別 処 理 量				
					飲用牛乳等向け		乳製品向け		
		前年比		前年比		前年比		前年比	
新潟県	平成27年	49,903	95.8	45,683	100.0	42,982	100.2	2,385	97.7
	令和2年	40,213	99.7	51,113	103.8	48,684	104.3	2,264	96.4
	令和4年	38,769	98.0	53,645	101.9	50,945	101.6	2,532	109.6
	令和5年	34,814	89.8	53,233	99.2	50,498	99.1	2,543	100.4
	令和6年	33,757	97.0	56,712	106.5	53,858	106.7	2,665	104.8
全国	平成27年	7,379,234	100.6	7,379,234	100.6	3,932,861	100.6	3,389,838	100.8
	令和2年	7,438,218	101.7	7,438,218	101.7	4,019,561	100.5	3,374,111	103.2
	令和4年	7,617,473	100.3	7,617,473	100.3	3,976,657	99.4	3,594,208	101.5
	令和5年	7,298,933	95.8	7,298,933	95.8	3,850,302	96.8	3,402,222	94.7
	令和6年	7,357,451	100.8	7,357,451	100.8	3,823,034	99.3	3,487,162	102.5

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

注：仕向別処理量では、「その他向け」は除いた

イ 生乳の流通

表 4 - 6 - ( 8 ) 飲用牛乳等の種類別生産量

( 単位 : kl、% )

区 分	飲 用 牛 乳		乳 飲 料		は っ 酵 乳		
		前年比		前年比		前年比	
新潟県	平成27年	34,949	97.9	4,162	83.3	8,556	107.6
	令和2年	39,892	106.7	3,435	99.4	10,010	104.7
	令和4年	41,739	102.1	3,606	102.5	10,464	100.4
	令和5年	41,940	100.5	3,867	107.2	10,316	98.6
	令和6年	45,070	107.5	4,184	108.2	10,688	103.6
全国	平成27年	3,456,331	100.0	1,306,315	98.2	1,054,932	105.4
	令和2年	3,573,856	100.1	1,108,195	98.3	1,059,866	102.9
	令和4年	3,563,671	99.5	1,077,401	101.8	1,062,787	102.8
	令和5年	3,468,400	97.3	1,068,946	99.2	995,523	93.7
	令和6年	3,437,170	99.1	1,018,384	95.3	1,024,492	102.9

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

ウ 肉用牛の流通

表 4 - 6 - ( 9 ) 牛肉の枝肉卸売価格、生産量及び輸入量の推移

( 単位：円 / kg、 t、 % )

区 分	枝肉卸売価格（東京）			生産量	輸入量
	和牛去勢 A - 4	交雑牛去勢 B - 3	乳牛去勢 B - 2		
平成27年度	2,446 (120.1)	1,668 (123.5)	1,085 (124.0)	332,416 (94.6)	487,098 (94.4)
令和 2 年度	2,200 (95.3)	1,415 (89.0)	925 (92.3)	335,496 (101.8)	590,992 (95.0)
令和 4 年度	2,325 (97.4)	1,511 (98.4)	1,015 (98.6)	347,570 (103.5)	562,505 (98.8)
令和 5 年度	2,203 (94.8)	1,501 (99.3)	864 (85.1)	351,397 (101.1)	501,898 (89.2)
令和 6 年度	2,165 (98.3)	1,562 (104.0)	1,064 (123.3)	353,451 (100.6)	506,260 (100.9)

資料：（独）農畜産業振興機構「国内統計資料」

注 1：数量は、部分肉ベース、（ ）は対前年比

注 2：消費税を含む

表 4 - 6 - ( 10 ) 全国肉用子牛価格の推移

( 単位：千円 / 頭、 % )

区 分	黒毛和種雄平均価格		交雑種雄平均価格		乳用種雄平均価格	
		前年比		前年比		前年比
平成27年度	726	(120.3)	426	(119.7)	224	(152.4)
令和 2 年度	721	(91.9)	405	(83.7)	235	(101.3)
令和 4 年度	690	(87.5)	359	(91.6)	165	(68.8)
令和 5 年度	605	(87.7)	350	(97.5)	181	(109.7)
令和 6 年度	600	(99.2)	356	(100.2)	192	(106.1)

資料：（独）農畜産業振興機構「国内統計資料」

注：消費税を含む

表 4 - 6 - ( 11 ) にいがた和牛の出荷状況

( 単位：頭、 %、 円 / kg )

年度	出荷頭数	4 等級以上格付率	枝肉価格
平成26年度	1,803	83	2,059
平成27年度	1,542	82	2,471
平成28年度	1,586	87	2,598
平成29年度	1,536	87	2,500
平成30年度	1,594	89	2,522
令和元年度	1,533	89	2,445
令和 2 年度	1,629	92	2,350
令和 3 年度	1,665	92	2,525
令和 4 年度	1,856	93	2,440
令和 5 年度	1,609	95	2,442
令和 6 年度	2,283	95	2,288

資料：畜産課調査

注：枝肉価格はにいがた和牛全体の平均税抜き価格

エ 豚の流通

表 4 - 6 - ( 12 ) 肉豚の枝肉価格、生産量及び輸入量の推移

( 単位 : 円 / kg、t、% )

区 分	枝肉価格 (上)		生産量		輸入量	
		前年比		前年比		前年比
平成27年度	538	91.2	887,551	101.4	825,617	101.2
令和 2 年度	570	109.6	916,787	101.5	883,985	92.7
令和 4 年度	596	108.4	901,101	97.7	965,146	103.9
令和 5 年度	604	101.3	908,772	100.9	914,512	94.8
令和 6 年度	667	110.4	894,534	98.4	983,276	107.5

資料 : ( 独 ) 農畜産業振興機構「国内統計資料」

注 1 : 数量は、部分肉換算

注 2 : 枝肉価格については、東京市場上物の年度平均税込み価格

オ 鶏 ( 鶏卵、ブロイラー、にいがた地鶏 ) の流通

表 4 - 6 - ( 13 ) 鶏卵とブロイラーの卸売価格の推移

( 単位 : 円 / kg、% )

区分	鶏卵卸売価格		ブロイラー卸売価格	
		対前年比		対前年比
平成27年度	227	105.1	649	103.7
令和 2 年度	170	93.4	644	108.6
令和 4 年度	251	116.7	713	112.1
令和 5 年度	276	110.0	720	101.0
令和 6 年度	254	92.0	690	95.8

資料 : ( 独 ) 農畜産業振興機構「国内統計資料」

注 1 : 卸売価格は、各年度平均

注 2 : 鶏卵卸売価格は、東京市場M卵の税抜き価格

注 3 : ブロイラー卸売価格は、東京市場もも肉の税抜き価格

表 4 - 6 - ( 14 ) にいがた地鶏の生産・販売状況

( 単位 : 羽 )

	生産羽数	販売羽数	在庫羽数
平成26年度	8,700	7,200	3,500
平成27年度	6,600	8,800	1,300
平成28年度	6,800	7,600	500
平成29年度	6,100	5,300	1,300
平成30年度	3,600	4,600	300
令和元年度	4,750	4,900	150
令和 2 年度	3,700	2,850	1,000
令和 3 年度	1,600	2,100	500
令和 4 年度	3,100	3,600	0
令和 5 年度	2,900	2,900	0
令和 6 年度	3,300	3,300	0

資料 : 畜産課調査

(3) 飼料

～ 配合飼料価格は令和4年10月をピークとして、依然高止まりの状況～

ア 濃厚飼料

(ア) 濃厚飼料流通量

表4-6-(15) 配合飼料・混合飼料流通量の推移

(単位：t、%)

年度	配 合 飼 料					計	混合飼料	合計
	乳牛用	肉牛用	養豚用	養鶏用	その他			
平成27年度	15,576	13,564	115,393	170,232	143	314,908	320	315,228
令和2年度	12,788	9,781	145,534	175,951	149	344,203	180	344,383
令和3年度	12,572	13,172	122,115	179,819	135	327,813	131	327,944
令和4年度	12,659	17,082	111,163	180,487	105	321,496	227	321,723
令和5年度	11,996	18,209	110,599	170,781	79	311,664	280	311,944
令和6年度	11,701	18,029	102,026	187,336	44	319,136	206	319,342
対前年度比	97.5	99.0	92.2	109.7	55.7	102.4	73.6	102.4

資料：(公社)配合飼料供給安定機構発行「飼料月報」

注：新潟県数値

表4-6-(16) 単体飼料流通量の推移

(単位：t、%)

年度	区分	穀類	ぬか類	油かす類	製造かす類	動物質飼料	その他	合計
平成27年度		2,546	2,092	538	1,438	28	10	6,652
令和2年度		5,723	1,510	1,432	1,310	23	7	10,005
令和4年度		639	1,129	728	1,460	13	4	3,973
令和5年度		463	1,070	875	1,455	5	4	3,872
令和6年度		249	1,242	836	1,477	5	5	3,814
対前年度比		53.8	116.1	95.5	101.5	100.0	125.0	98.5

資料：畜産課調査

(イ) 配合飼料価格

表 4 - 6 - (17) 配合飼料価格の推移

(単位：円 / t)

区分 年度 / 年月	配合飼料価格 (小売価格)				
	乳用牛用	肉用牛肥育用	肉豚肥育用	成鶏用	ブロイラー用 (後期)
平成27年度	73,070	69,270	69,030	84,570	74,500
令和2年度	70,730	66,970	66,700	81,090	69,560
令和4年度	98,690	91,203	93,885	111,708	99,477
令和5年度	96,807	92,356	92,365	112,367	100,808
令和6年度	92,858	90,156	89,597	109,800	96,745
令和7年4月	92,260	90,720	90,370	110,000	96,560
令和7年5月	92,300	89,910	90,280	109,900	96,560
令和7年6月	92,280	89,750	90,180	109,900	96,540
令和7年7月	90,380	88,080	88,300	108,200	94,690
令和7年8月	90,340	88,010	88,180	108,200	94,730
令和7年9月	90,330	88,010	88,070	108,100	94,600
令和7年10月	89,970	87,900	87,200	107,800	94,090
令和7年11月	90,000	87,900	87,120	107,800	94,010
令和7年12月	90,020	87,870	87,060	107,800	94,000

資料：(公社)配合飼料供給安定機構発行「飼料月報」、農林水産省「農業物価統計調査」  
注：消費税を含む。

表 4 - 6 - (18) 配合飼料の輸入原料価格の推移と価格安定制度の補填の実施状況

(単位：円 / t)

区分 年月	輸入原料価格	価格安定制度補填額		
		異常補填額	通常補填額	緊急補填額
令和2年	1～3月	27,281	0	0
	4～6月	27,655	0	0
	7～9月	25,349	0	0
	10～12月	25,078	0	0
令和3年	1～3月	29,669	0	3,300
	4～6月	36,835	5,901	3,999
	7～9月	41,353	7,266	4,934
	10～12月	41,520	4,128	4,372
令和4年	1～3月	42,665	1,749	3,451
	4～6月	50,462	4,761	5,039
	7～9月	60,846	11,346	5,454
	10～12月	63,264	496	7,254
令和5年	1～3月	55,478	327	623
	4～6月	54,540	0	0
	7～9月	54,546	0	0
	10～12月	51,249	0	0
令和6年	1～3月	48,755	0	0
	4～6月	47,518	0	0
	7～9月	47,247	0	0
	10～12月	42,856	0	0
令和7年	1～3月	45,643	0	0
	4～6月	43,757	0	0
	7～9月	41,957	0	0
	10～12月	41,261	0	0

資料：農林水産省「輸入原料価格の推移と配合飼料価格安定制度の補填の実施状況」

イ 飼料作物

表 4 - 6 - ( 19 ) 飼料作物の種類別作付面積の推移

( 単位 : ha、 % )

区 分 年 度	麦類	とうもろこし	ソルガム	その他 青刈	うち	計	牧草	飼料用米	合計
					稲WCS				
平成27年度	3	183	11	371	371	579	1,520	3,414	5,500
平成29年度	0	174	8	370	370	552	1,430	4,178	6,160
令和2年度	-	159	15	370	370	544	1,120	1,876	3,590
令和5年度	-	151	13	533	533	697	1,090	4,032	5,870
令和6年度	-	-	-	-	687	-	-	2,866	-
対前年比	-	-	-	-	128.9	-	-	71.1	-

資料：農林水産省「飼肥料作物の作付（栽培）面積」、「新規需要米の取組計画認定状況」

注1：平成29年度以降は、都道府県データの公表は3年ごとに変更

注2：令和2年度および令和5年度は、麦類の面積データなし

ウ 公共牧場の利用

表 4 - 6 - ( 20 ) 公共牧場利用の推移

( 単位 : ha、 頭、 % )

区 分 年 度	放牧場数	牧場利用面積				放 牧 日 数	放牧頭数
		総面積	放牧地	採草・放 牧兼用地	野草他		
令和5年度	8	469	264	68	137	154~218(平均197日)	395
令和6年度	8	469	264	68	137	154~217(平均189日)	367
令和7年度	8	409	260	68	81	144~211(平均185日)	354
対前年比	100.0	87.2	98.5	100.0	59.0		96.5

資料：畜産課調査

注：大佐渡林間放牧を除く

(4) 家畜衛生

～ 高病原性鳥インフルエンザが 2 件発生～

表 4 - 6 - ( 21 ) 監視伝染病の発生動向

区分	畜種	疾 病 名	令和 3 年		令和 4 年		令和 5 年		令和 6 年		令和 7 年	
			件	頭羽群数	件	頭羽群数	件	頭羽群数	件	頭羽群数	件	頭羽群数
家畜伝染病	牛	ヨーネ病					2	2				
	豚	豚熱							1	3		
	鶏	高病原性鳥インフルエンザ			1	2	4	8	2	4	2	4
届出伝染病	牛	牛伝染性リンパ腫	10	10	16	17	12	12	12	12	13	15
		気腫疽			1	1						
		ネオスポラ症	1	1					2	5		
		サルモネラ症					1	1	1	3		
	豚	サルモネラ症	2	13								
		豚丹毒	3	120	3	131	5	171	4	79	5	8
		豚赤痢	2	31								
	鶏	鶏伝染性気管支炎	8	1,333	1	15			5	40	2	18
		鶏白血病										
		鳥マイコプラズマ症							1	9		
	蜜蜂	バロア症										
		アカリダニ症	1	1	1	1					1	4
	山羊	山羊関節炎・脳炎	1	1								

資料：畜産課調査

注：令和 6 年 9 月以降、発生頭羽数は家畜保健衛生所で検査等に供した頭羽数のみを集計している  
（以前は同時期に同様の症状で死亡した頭羽数も含めていた）

(5) 畜産に由来する苦情発生状況

～ 畜産経営に起因する苦情では悪臭関係が多い～

表 4 - 6 - ( 22 ) 新潟県の苦情発生件数の推移

区分	水質	悪臭	害虫	水質 悪臭	水質 害虫	悪臭 害虫	水質 悪臭 害虫	その他	計
令和 2 年度	5	24	0	1	0	0	0	1	31
令和 3 年度	1	19	1	1	0	1	0	1	24
令和 4 年度	2	18	0	0	0	0	0	3	23
令和 5 年度	0	17	0	1	0	0	0	1	19
令和 6 年度	1	25	0	1	0	0	0	1	28
令和 7 年度	3	18	0	0	0	0	0	1	22

資料：畜産課調査

注：前年 7 月 1 日～ 6 月 30 日の 1 年間

## 7 食品産業の動きと国内外の多様な販路開拓

### (1) 県内工業における食品産業の地位

～ 県内主要製造業種における食料品等の従業者数、出荷額は第1位～

表4-7-(1) 県内主要製造業種における従業者数及び製造品出荷額  
(個人経営を除くすべての事業所)

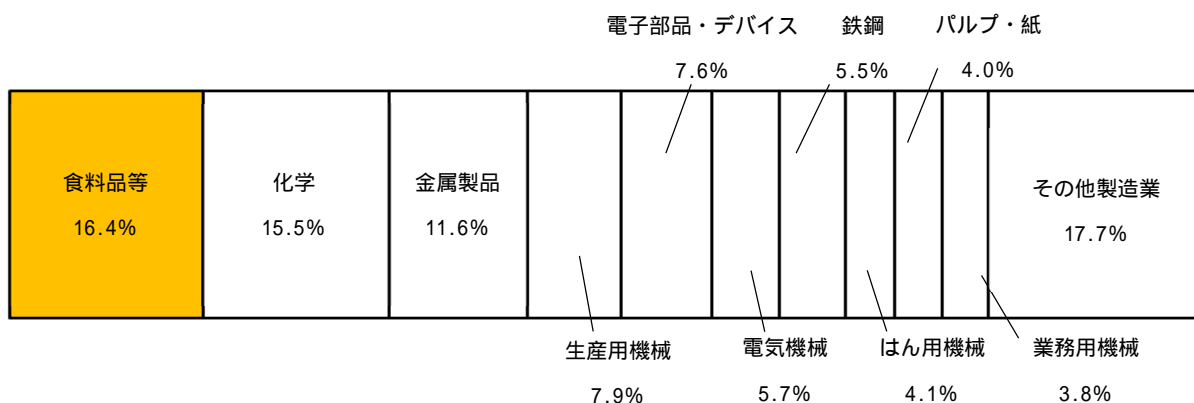
(単位：千人、億円、%)

	従業者数(令和6年)		製造品出荷額(令和5年)	
	実数	構成比	実数	構成比
食料品等	34.0	19.0	8,952	16.4
化学	8.6	4.8	8,500	15.5
金属製品	25.0	14.0	6,345	11.6
生産用機械	18.1	10.2	4,317	7.9
電子部品・デバイス	15.5	8.7	4,175	7.6
電気機械	9.6	5.4	3,140	5.7
鉄鋼	6.4	3.6	3,020	5.5
はん用機械	8.2	4.6	2,257	4.1
パルプ・紙	3.8	2.2	2,183	4.0
業務用機械	5.0	2.8	2,087	3.8
その他	44.4	24.8	9,691	17.7
全製造業	178.6	100.0	54,667	100.0

資料：経済産業省「令和6年経営構造実態調査」(令和7年12月)

注：食料品等とは、日本標準産業分類の中分類「09：食料品製造業」及び「10：飲料・たばこ・飼料製造業」を集計

図4-7-(1) 令和5年県内主要製造業種における製造品出荷額の構成  
(個人経営を除くすべての事業所)



資料：経済産業省「令和6年経営構造実態調査」(令和7年12月)

注：食料品等とは、日本標準産業分類の中分類「09：食料品製造業」及び「10：飲料・たばこ・飼料製造業」を集計

表4-7-(2) 食品産業 業種別製造品出荷額の推移

(単位：億円、%)

区分	製品	製造品出荷額			R 5		
		R 2	R 3	R 4	出荷額	前年比	構成比
食料品等		8,325	8,476	8,370	8,952	107.0	100.0
畜産食料品	肉・乳製品	891	1,033	985	1,143	116.0	12.8
水産食料品	かまぼこ・海草・缶詰等	625	624	642	637	99.3	7.1
農産保存品	漬物・缶詰・びん詰	170	177	180	181	100.8	2.0
調味料	みそ・しょうゆ・酢等	152	202	185	256	138.3	2.9
精穀・製粉	精米・小麦粉	460	412	398	446	112.2	5.0
パン・菓子	米菓・パン・その他菓子	3,545	3,226	3,071	3,379	110.0	37.7
酒類	清酒他	426	397	451	474	105.0	5.3
その他		2,056	2,405	2,459	2,436	99.0	27.2
全製造業		41,797	51,194	53,983	54,667	101.3	-

資料：新潟県統計課「にいがた県統計ボックス」(～R3)、経済産業省「経営構造実態調査」(R4～)

注1：食料品等とは、日本標準産業分類の中分類「09：食品製造業」及び「10：飲料・たばこ・飼料製造業」を集計

注2：工業統計調査が「公的統計の整備に関する基本的な計画（令和2年6月2日閣議決定）」における経済統計の体系的整備に関する要請に基づき、経営構造実態調査に包摂され、製造業事業所調査として実施されることになったため、令和2年までのデータは従業員4人以上の事業所が対象であるが、令和3年以降のデータは個人経営を除く全事業所が対象となっている。

注3：注2の理由により、過去の統計と単純比較できないことに留意されたい。

## (2) 食品産業の全国における地位

～米菓、包装餅等、米を中心とした食品産業は全国トップクラスを堅持～

表4-7-(3) 新潟県の食料品等製造品出荷額の全国位置（個人経営を除くすべての事業所）

(単位：億円、%)

令和5年	全国	新潟県	シェア	順位	備考
食料品	330,038	8,164	2.4	14	1位：北海道 2位：埼玉 3位：愛知
飲料・たばこ・飼料	109,306	787	0.7	30	1位：栃木 2位：静岡 3位：京都
計	439,344	8,952	2.0	-	

資料：経済産業省「令和6年経営構造実態調査」(令和7年12月)

表4-7-(4) 新潟県の食料品等主要業種における製造品出荷額の全国位置

(個人経営を除くすべての事業所)

(単位：億円、%)

	令和3年		令和4年		令和5年			
	金額	全国シェア	金額	全国シェア	金額	前年比	全国シェア	全国順位
米菓	1,721	54.1	1,591	49.0	1,796	112.9	50.9	1
切餅包装餅	298	64.0	276	65.3	283	102.5	64.8	1
水産練製品	342	10.8	342	9.8	344	100.6	9.7	1
清酒	397	10.8	419	10.9	444	106.0	11.4	3
野菜漬物	129	4.0	120	3.7	128	106.7	3.9	8
味噌	17	1.2	17	1.2	17	100.0	1.2	12

資料：経済産業省「経営構造実態調査」

### (3) 地産地消の取組

～ 県内卸売市場の県産農林水産物の取扱割合は、青果物は微減、水産物は微増～

#### ア 地元卸売市場等の連携

表 4 - 7 - ( 5 ) 県内卸売市場における県内産青果物取扱高の割合の推移

(単位：%)

	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
青果物	33.5%	33.1%	33.1%	31.3%	32.6%

資料：新潟市中央卸売市場年報、食品・流通課「地方卸売市場実態調査」

表 4 - 7 - ( 6 ) 県内消費地市場における県内産水産物取扱高の割合の推移

(単位：%)

	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
水産物	22.3%	20.8%	15.2%	18.8%	19.1%

資料：新潟市中央卸売市場年報、食品・流通課「地方卸売市場実態調査」

#### イ 直売所の動き

表 4 - 7 - ( 7 ) 直売所の設置、販売状況

		平成28年	平成30年	令和 2 年	令和 4 年	令和 6 年
農林産物	設置数(ヶ所)	609	545	525	487	505
	販売額(千円)	15,161,534	15,398,218	17,029,285	18,441,510	21,575,425
水産物	設置数(ヶ所)	6	7	6	6	5
	販売額(千円)	132,418	120,959	99,885	95,482	101,604
合 計	設置数(ヶ所)	615	552	531	493	510
	販売額(千円)	15,293,952	15,519,177	17,129,170	18,536,992	21,677,029

資料：食品・流通課、水産課

注：農林産物について、隔年調査に変更したため、平成 29 年、令和元年、令和 3 年、令和 5 年は調査していない。

#### ウ 学校給食への地場産青果物等供給推進の取組

表 4 - 7 - ( 8 ) 令和 6 年度学校給食における県産農林水産物の割合(金額ベース)

(単位：%)

純使用割合	その他(種実類等)を除いた割合	穀 類	野 菜	果 物	きのこ	畜産物	水産物	その他(種実類等)
57.2	57.5	65.2	41.1	1.6	70.9	78.0	0.0	0.0

資料：文部科学省、教育庁保健体育課(抽出調査) 調味料等は、調査対象外

注：令和 4 年度より金額ベース調査に変更

(4) 食育の取組

～令和6年度は、延べ42人の食育ボランティアが、1,576名を対象に活動を実施～

表4-7-(9) 食育ボランティア登録人数

(R7.3月末現在)

登録人数(人)		登録分野 (複数登録)			
		食文化・郷土料理	農業等生産	栄養・健康管理	その他
個人	21	13	4	6	3
団体	12団体(467人)	11	4	5	4

資料：食品・流通課

表4-7-(10) 食育ボランティアの活動事例(令和6年度)

区分	活動内容	活動を行った食育ボランティア数	対象者数
児童・生徒を対象とした活動	<ul style="list-style-type: none"><li>生産現場での農作業体験</li><li>地場産野菜についての講義</li><li>郷土料理や減塩料理の調理実習</li></ul>	延べ42人	1,576人
一般を対象とした活動	<ul style="list-style-type: none"><li>伝統食や郷土料理をテーマとした調理実習</li></ul>		

資料：食品・流通課

## 8 環境保全型農業の取組

### (1) にいがたエコファーマー の認定状況

～ にいがたエコファーマーは増加している～

表 4 - 8 - ( 1 ) にいがたエコファーマー認定状況

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
認定件数（年度末現在）	21 件	127 件	190 件	235 件
水 稻	20 件	32 件	45 件	77 件
大豆・そば	0 件	1 件	2 件	4 件
野 菜	2 件	97 件	139 件	144 件
果 樹	3 件	2 件	4 件	4 件
花 き	0 件	0 件	0 件	5 件
きのこ	0 件	0 件	0 件	1 件

資料：農産園芸課調査

「環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律（みどりの食料システム法）」（令和 4 年 4 月施行）に基づき「環境負荷低減事業活動実施計画」を新潟県が認定した農業者

注：複数品目で認定されている場合があるため、品目別件数の合計は認定件数と一致しない。

### (2) 有機物の施用状況

～ 水田への稲わらのすき込み面積率はほぼ同程度で推移～

表 4 - 8 - ( 2 ) 稲わら利用状況

年 度	す き 込 み					収 集		焼 却	
	秋すき込み		春すき込み		計 比率(%)	面積(ha)	比率(%)	面積(ha)	比率(%)
	面積(ha)	比率(%)	面積(ha)	比率(%)					
平成 7 年	44,306	32.2	67,975	49.3	81.5	16,068	11.7	9,451	6.9
12 年	44,673	37.0	66,267	54.9	91.9	8,165	6.8	1,595	1.3
17 年	46,178	38.2	67,213	55.6	93.7	7,180	5.9	198	0.2
22 年	49,661	42.1	60,666	51.5	93.6	7,428	6.3	89	0.1
27 年	49,900	42.5	60,499	51.5	94.0	7,135	6.1	66	0.1
令和 2 年	47,052	39.4	66,173	55.4	94.8	6,198	5.2	32	0.0
3 年	47,009	40.1	64,211	54.7	94.8	6,073	5.2	27	0.0
4 年	46,128	39.8	63,752	55.0	94.7	6,069	5.2	36	0.0
5 年	44,640	38.5	65,426	56.4	94.9	5,859	5.1	21	0.0
6 年	43,650	37.6	66,782	57.5	95.0	5,761	5.0	15	0.0
7 年	43,995	37.3	67,921	57.6	94.9	5,915	5.0	15	0.0

資料：農産園芸課「稲わら等有機質資源の利用実態調査」

注：ほ場放置は、大部分が翌年の春にすき込まれることから「春すき込み」としてカウント

表 4 - 8 - ( 3 ) 水田・普通畑に対するたい肥施用面積割合

年 度	水 田 (%)	普 通 畑 (%)
平成 7 年	7.0	29.2
12 年	4.5	20.5
17 年	5.7	24.0
22 年	12.4	24.9
27 年	11.4	19.7
令和 2 年	8.6	18.1
3 年	8.8	17.8
4 年	10.4	18.3
5 年	11.7	17.1
6 年	13.8	17.8
7 年	13.8	17.1

資料：農産園芸課「稲わら等有機質資源の有効利用実態調査」  
注：水田には転作田は含まれない

(3) 農薬の流通状況

～ 農薬の流通量は減少している～

表 4 - 8 - ( 4 ) 農薬流通量の推移

農薬年度	農作物延 作付面積 (ha)	流通量の内訳 ( t・kl )				合 計 流通量 ( t・kl )
		殺菌剤	殺虫剤	殺虫殺菌剤	除草剤	
平成 27 年度	148,900	1,183	1,990	543	2,831	6,783
平成 28 年度	148,500	1,156	2,075	544	2,892	6,906
平成 29 年度	147,800	1,048	1,822	547	2,365	6,540
平成 30 年度	147,600	1,048	1,749	694	4,704	9,526
令和元年度	147,500	952	1,757	667	3,758	8,484
令和 2 年度	146,700	937	1,847	756	4,044	9,093
令和 3 年度	146,000	816	1,654	731	4,132	9,033
令和 4 年度	145,300	967	1,567	650	4,821	11,268
令和 5 年度	144,200	960	1,616	557	3,852	9,425
令和 6 年度	143,400	670	1,462	528	3,523	8,632

資料：農産園芸課「農薬流通実態調査(平成 29 年度まで)」(一社)「農薬要覧(平成 30 年度から令和 3 年度まで)」、JPP-NET 植防関係データ(令和 4 年度以降)、農林水産省統計情報部「作物統計」

注：農薬年度とは、前年度の 10 月から当年度 9 月までの期間

(4) 特別栽培農産物認証制度等の取組状況

ア 新潟県認証特別栽培農産物

～ 認証面積は国ガイドラインへの切り替えなどにより減少傾向～

表 4 - 8 - ( 5 ) 令和 7 年度県特別栽培農産物認証制度認証状況 (R8 年 1 月末現在)

農産物名	件 数 (件・%)			面 積 (ha・%)			出荷予定量 (t・%)		
	R6	R7	R7/R6	R6	R7	R7/R6	R6	R7	R7/R6
米	575	547	95	7,429	7,220	97	32,429	30,350	94
園芸	23	23	100	26	29	112	93	107	115
計	598	570	95	7,455	7,249	97	32,522	30,457	94

資料：農産園芸課調査

注：ラウンドの関係で数値の合計が一致しない場合がある

イ 有機農産物 ( JAS 法 )

～ 有機農産物の経営体数は全国 4 位～

令和 7 年 3 月 31 日現在の有機農産物の生産工程管理者 の認定件数は、122 件で全国 5 位、有機農産物の経営体数は、183 戸で全国 4 位となっている。

表 4 - 8 - ( 6 ) 有機 JAS 認定事業者数 (R7.3.31 現在、国内分のみ)

	生産工程管理者	有機農産物の経営体数
新潟県	122 件	183
全 国	2,960 件	4,075

生産工程管理者

対象の農産物の生産工程を管理・把握している者で、生産者や生産組合代表等が該当。

資料：農林水産省県別有機認証事業者数

## 9 鳥獣害の状況

表4-9-(1) 鳥獣種別被害状況

(単位：万円)

	鳥類			獣類						計
	カラス	ムクドリ	鳥類小計	タヌキ	クマ	ハクビシン	イノシシ	シカ	獣類小計	
平成24年度	9,861	3,398	17,186	1,815	1,014	404	946	8	9,648	26,834
平成25年度	9,008	2,943	16,140	1,961	509	289	2,785	0	9,109	25,249
平成26年度	8,392	2,797	15,694	1,538	614	342	2,265	29	8,532	24,226
平成27年度	8,315	2,868	15,643	1,348	429	367	1,142	28	6,361	22,004
平成28年度	9,506	2,741	16,325	1,327	0	505	1,479	36	7,588	23,913
平成29年度	8,059	2,936	14,647	1,332	424	579	3,870	93	9,874	24,521
平成30年度	6,886	2,902	13,696	1,454	497	1,080	3,283	37	9,071	22,768
令和元年度	6,096	2,928	13,109	1,371	594	931	5,137	25	10,647	23,756
令和2年度	6,490	3,046	13,238	1,343	320	917	13,477	68	19,300	32,538
令和3年度	6,208	3,062	12,614	1,195	188	740	10,118	140	14,567	27,181
令和4年度	6,023	3,076	12,778	1,092	87	582	7,861	81	11,778	24,556
令和5年度	6,420	3,094	14,061	1,233	193	675	6,964	150	10,767	24,829
令和6年度	6,502	3,040	13,628	1,245	93	1,353	14,266	484	19,873	33,502

資料：市町村調べ農産園芸課とりまとめ

表4-9-(2) 主な有害鳥獣の捕獲数

(単位：羽、頭)

	鳥類		獣類					
	カラス	ムクドリ	サル	タヌキ	クマ	ハクビシン	イノシシ	シカ
平成24年度	10,796	6,609	1,682	1,532	169	151	669	57
うち、有害鳥獣捕獲	8,763	6,386	1,682	222	163	106	174	9
平成25年度	9,102	6,818	909	1,432	95	248	540	95
うち、有害鳥獣捕獲	7,194	6,527	909	213	85	182	155	18
平成26年度	9,236	6,572	1,481	1,421	215	245	1,266	188
うち、有害鳥獣捕獲	7,398	6,336	1,481	290	205	179	306	41
平成27年度	7,584	6,103	1,404	1,209	126	233	1,256	54
うち、有害鳥獣捕獲	6,005	5,789	1,404	176	114	158	532	21
平成28年度	7,787	6,810	1,344	1,186	226	357	2,067	209
うち、有害鳥獣捕獲	6,372	6,581	1,344	213	216	271	700	86
平成29年度	6,283	5,082	1,751	1,103	267	380	2,689	245
うち、有害鳥獣捕獲	4,975	4,804	1,751	208	253	300	1,376	96
平成30年度	6,070	5,445	1,166	1,124	153	292	2,657	334
うち、有害鳥獣捕獲	4,946	5,345	1,166	229	138	228	1,415	152
令和元年度	5,257	5,277	1,186	1,218	569	384	2,953	156
うち、有害鳥獣捕獲	4,384	5,125	1,186	341	545	276	1,945	110
令和2年度	5,334	3,756	1,615	1,570	667	575	4,689	1,192
うち、有害鳥獣捕獲	4,426	3,595	1,615	493	654	462	2,427	551
令和3年度	4,977	4,108	1,123	1,625	215	532	3,281	1,118
うち、有害鳥獣捕獲	4,084	3,982	1,123	482	205	441	1,449	494
令和4年度	4,049	2,875	1,206	1,454	157	427	3,330	643
うち、有害鳥獣捕獲	3,577	2,816	1,206	506	148	352	1,860	354
令和5年度	3,474	3,357	1,451	1,914	472	424	3,866	439
うち、有害鳥獣捕獲	2,888	3,266	1,451	610	459	343	2,347	275
令和6年度	3,430	3,039	1,134	1,502	231	387	6,628	1,120
うち、有害鳥獣捕獲	2,993	2,976	1,134	465	216	340	3,783	533

資料：環境対策課調査

注：捕獲数は有害鳥獣捕獲、狩猟及び個体数調整による捕獲数を合計したもの